

平成24年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

教 学 指 導 課

I 調査の概要

1 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 実施日 平成24年4月17日（火）

3 対象学年 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

4 本県の参加状況

	対象学校数	学校数(抽出率)	児童生徒数
公立小学校	377校	72校(19.1%)	3,933人
公立中学校	191校	44校(23.0%)	4,527人

5 実施教科 国語、算数・数学、理科

6 調査内容

(1) 児童生徒に対する調査

①教科[国語、算数・数学、理科]に関する調査

国語、算数・数学はそれぞれ、「主に知識に関する問題」と「主に活用に関する問題」を出題。理科については、「主に知識に関する問題」と「主に活用に関する問題」を一体的に出題。

※主に知識に関する問題

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 等

※主に活用に関する問題

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 等

②質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況 等

7 調査の方式

抽出調査及び希望利用方式

II 本県の調査結果

1 教科に関する調査の結果

○ 平均正答率は全国平均と同程度に回復
平均正答率（表 1）は、22 年度には中学校国語 B と数学 A・B で全国の平均正答率を下回っていたが、今年度は小・中学校国語 A で全国の平均正答率を上回った。
○ 正答数の分布状況は、上位層が全国と同様の分布に
正答数分布グラフ（図 1・2）では、22 年度には多くの教科で上位層が全国よりも少なかったが、今年度は、特に隔たりの大きかった中学校国語 B と数学 A・B において、全国と同様の分布となった。
○ 知識・技能等を活用する力に課題
B 問題の平均正答率は、全国と同様に 5～6 割にとどまった。全国と同様、本県も知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力に課題があると言える。

表 1 長野県と全国（公立）との平均正答率の比較

学校	年度	平成 24 年度		平成 22 年度
		長野県	全国（公立）	長野県
小学校	国語 A	81.8～83.0 (14.0/17)	81.4～81.7 (13.9/17)	83.4～84.9 (12.6/15)
	国語 B	54.9～56.7 (6.1/11)	55.4～55.8 (6.1/11)	77.7～79.5 (7.9/10)
	算数 A	72.4～74.1 (13.9/19)	73.1～73.5 (13.9/19)	72.9～75.0 (14.1/19)
	算数 B	57.6～59.6 (7.6/13)	58.7～59.1 (7.7/13)	47.6～49.4 (5.8/12)
	理科	60.3～62.0 (14.7/24)	60.8～61.1 (14.6/24)	
中学校	国語 A	75.6～77.0 (24.4/32)	75.0～75.2 (24.0/32)	73.6～75.2 (26.0/35)
	国語 B	62.6～65.0 (5.7/9)	63.2～63.4 (5.7/9)	62.6～65.0 (6.4/10)
	数学 A	61.2～63.5 (22.4/36)	62.0～62.3 (22.4/36)	61.1～64.1 (22.5/36)
	数学 B	47.1～50.4 (7.3/15)	49.2～49.5 (7.4/15)	39.7～42.8 (5.8/14)
	理科	49.7～52.2 (13.2/26)	50.9～51.1 (13.3/26)	

上段：95%の確率で、全員を対象とした調査(悉皆調査)の場合の平均正答率が含まれる範囲
 枠囲いは、全国との差が「若干上回る」、網掛けは、全国との差が「若干下回る」、
 枠囲い及び網掛けなしは、「全国と有意な差はない」。

下段：(平均正答数の推計値(問) / 設問数(問))

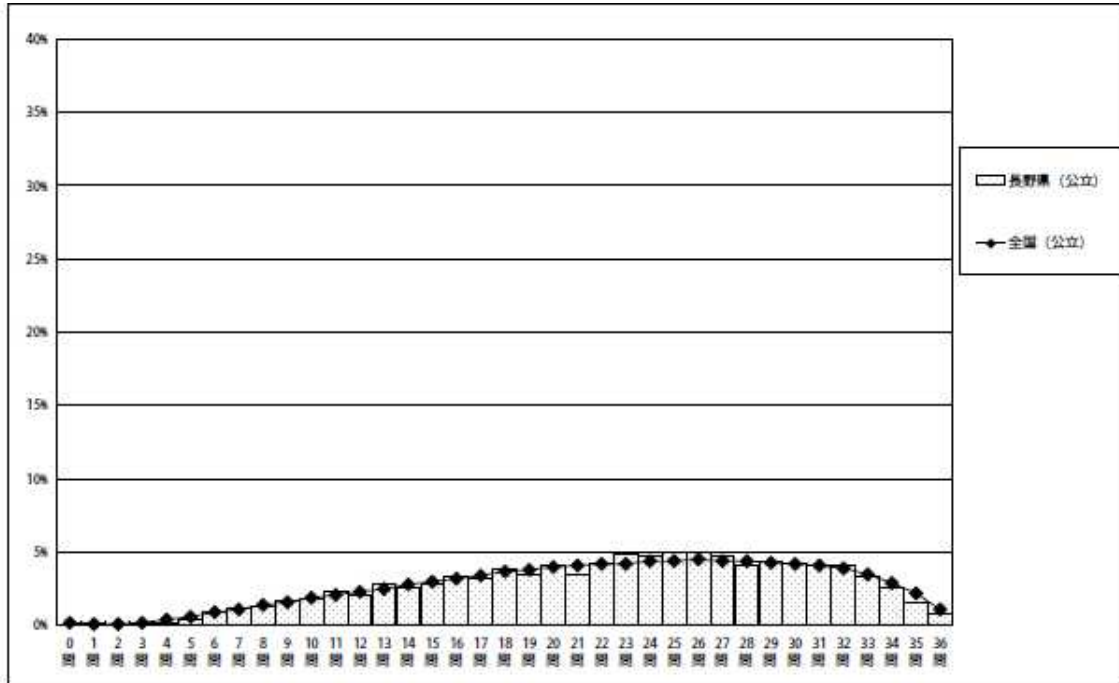
長野県と全国（公立）との正答数分布グラフの比較

[正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）]

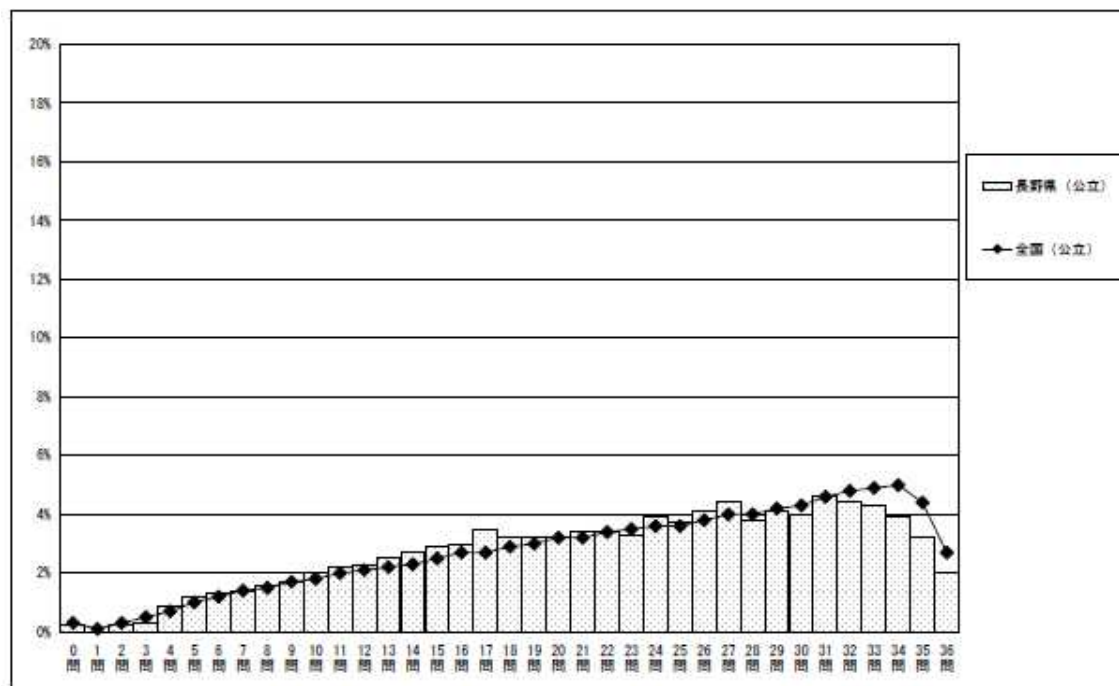
◇平成 24 年度と平成 22 年度との中学校数学 A について

平成 22 年度（図 2）では、正答数 32 問以上の割合が全国を大きく下回っているが、24 年度（図 1）は、0 問～36 問のどの正答数の割合も、全国と同様の分布となっている。

【図 1：平成 24 年度数学 A 正答数分布グラフ】



【図 2：平成 22 年度数学 A 正答数分布グラフ】



2 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題

※〔 〕内は問題番号、県の正答率の順、設問別調査結果の一覧は P25～P37 参照

(1) 小学校国語

[分析結果]

- ① A問題では、既習の漢字を正しく書くこと〔9〕ー 85.3%〕、百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を捉えること〔5〕イ 93.7%〕など、相当数の児童が理解できているが、次のような設問に対して、課題が見られる。

・目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書く〔7〕 42.3%〕

- ② B問題では、参加者から出された質問の内容を適切に捉え、まとまりごとに整理すること〔2〕ー 84.2%〕、雑誌の特徴の説明として適切なものを選択すること〔3〕一ア 88.1%〕などは、相当数の児童が理解できているが、次のような設問に対して、課題が見られる。

・目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、内容の中心を明確にして書く〔1〕二 54.7%〕

・二つの記事に書かれている内容を結び付けながら読み、理由となる事実を基にして自分の考えを記述する〔3〕四 39.3%〕

[課題]

解答類型を見ると、〔1〕二や〔3〕四では、二つの情報のうち片方の情報しか取り出さず、条件を満たさない誤答が全国よりも約2ポイント高い。複数の情報を関係付け、条件に合わせながら自分の考えをまとめて書くことに課題が見られる。

(2) 小学校算数

[分析結果]

- ① A問題では、整数、分数の四則計算、測定値の平均を求めること〔4〕 88.2%〕、二つの数量の関係が比例の関係にあることを理解すること〔9〕 84.6%〕など、相当数の児童が理解できているが、次のような設問に対して、課題が見られる。

・120cmの赤いテープの長さが白いテープの長さの0.6倍に当たるときの2つの関係を表している図を選ぶ〔3〕(1) 34.2%〕

※23年度県PDCA調査(小5)においても、6mのテープの長さが12mのテープの長さの何倍か、求める式と答えを書く問題で、正答率は32.0%と同様の課題が見られた。

- ② B問題では、与えられた条件に合う時刻を求めること〔4〕(1) 80.9%〕は、相当数の児童が理解できているが、次のような設問に対して、課題が見られる。

・代金630円に対して、1030円よりも1130円を支払ったときの方が、おつりの硬貨の枚数が少なくなるわけを書く〔1〕(2) 42.3%〕

・表から合計の人数を基にした乗れる人数の割合は、男子と女子でどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く〔5〕(3) 21.1%〕

[課題]

県の PDCA 調査と同様に数量関係の意味理解が不十分な状況である。また、**1**(2) (全国比-0.2%)、**5**(3) (全国比-2.2%) と全国よりも下回るなど、言葉や数を用いて方法や理由を書くことに課題が見られる。

(3) 小学校理科

[分析結果]

物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解すること [**1**(1) 84.7%]、学習した植物の規則性を、他の対象に適用すること [**2**(2)イ 88.7%] については、相当数の児童が理解できているが、次のような設問に対して、課題が見られる。

- ・砂糖水に溶けている氷砂糖の様子について、実験結果を基に自分の考えを改善してその理由を記述する [**1**(3) 56.2%]
- ・植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その理由を記述する [**2**(5) 31.2%]

[課題]

解答類型を見ると、**1**(3)では 20.7%、**2**(5)では 33.7%の児童が、実験結果を正しく選んでもその理由を十分に記述できていない。科学的な用語や概念を用いて、結果を考察したり説明したりすることに課題が見られる。

(4) 中学校国語

[分析結果]

- ① A問題では、漢字を正しく読むこと [**7**ニ 3 80.2%]、相手に応じて文章を書き直すこと [**2**ニ 86.2%]、文章の特徴として適切なものを選択すること [**5**一 90.7%] など、全国と比べて正答率が高い。
- ② B問題では、話の展開に注意して聞くこと [**1**ニ 81.4%]、文脈の中における語句の意味を捉えること [**2**一 84.6%]は、相当数の生徒が理解できているが、次のような設問に対して、課題が見られる。

- ・相手の発言を注意して聞き、自分の考えを具体的に書く [**1**三 20.0%]
- ・物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、自分の考えを書く [**3**三 58.4%]

[課題]

1三などの自分の考えを書く問題では、正答の条件の一部を満たさない解答が4割を超えた。着目した内容を明確にした上で、自分の考えを具体的に書くことに課題が見られる。小学校での課題でもあることから、小学校段階での課題が中学校でも解消されていない状況にある。

(5) 中学校数学

[分析結果]

- ① A問題では、連立二元一次方程式を解くこと〔3〕(2) 80.8%〕、対称移動した図形をかくこと〔4〕(2) 81.2%〕、1回転させると円柱ができる平面図形として正しい物を選ぶこと〔5〕(2) 89.4%〕などは、相当数の生徒が理解できているが、次のような設問に対して、課題が見られる。

- ・方程式の解が問題の答えとして適切であるかどうかを調べることについて、正しい記述を選ぶ 〔3〕(4) 44.3%〕
- ・二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ 〔13〕 36.6%〕

- ② B問題では、ヒストグラムから必要な情報を適切に選択すること〔3〕(1) 75.7%〕は、相当数の生徒が理解できているが、次のような設問に対して、課題が見られる。

- ・連続する3つの自然数の和が3の倍数になる理由を説明する 〔2〕(1) 31.8%〕
- ・AEの長さを求められるようにするための方法を説明する 〔5〕(3) 20.4%〕

[課題]

小学校と同様に意味理解が不十分である。また、理由や方法を説明する問題における記述解答の無解答率を見ると、〔2〕(1)が28.1%(全国は24.1%)、〔5〕(3)が45.7%(全国は43.5%)等、全国よりも高い傾向にある。事柄が成り立つ理由や、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られる。

(6) 中学校理科

[分析結果]

実験結果の考察と「新聞に書かれていたLED電球の省エネの効果」を関連付けている場面において、電力に関する知識を活用して、LED電球の省エネ効果を考えること〔2〕(3)Y 84.1%〕、「石灰岩にうすい塩酸をかけると二酸化炭素が発生する」という石灰岩の見分け方に関する技能〔3〕(6) 77.5%〕については、相当数の生徒が理解できているが、次のような設問に対して、課題が見られる。

- ・両生類であるカエルの特徴や成長に応じて飼育の環境を整えた理由を説明する 〔1〕(2) 33.4%〕
- ・「いくらでも食塩水を濃くできるわけではない」という他者からの指摘を分析し解釈して、他者の考えの根拠を説明する 〔4〕(4) 44.4%〕

[課題]

解答類型を見ると、〔1〕(2)や〔4〕(4)では、記述してはいるが誤っている解答が2割程度あり、また、選択式問題以外のところで無解答率が高い傾向にある。基礎的・基本的な知識や技能を活用して、観察・実験の結果や他者からの指摘などを分析し、説明することに課題が見られる。

3 平成 21 年度小学校問題と平成 24 年度中学校問題における関連のある問題について

平成 21 年度に小学校で調査対象となった児童が、今年度中学校で調査対象となっている。21 年度と 24 年度との問題で、関連ある問題の正答率の差をまとめた。

<国語>

	設問の概要	長野県	全国	差	経年差
H21 A1一(3)	漢字を読む(めずらしい植物を採集する)	78.7	80.0	-1.3	+7.7
H24 A7二3	漢字を読む(会議で決を採る)	80.2	73.8	+6.4	
H21 A3	はがきの表書きに必要な事柄の順序を考えて書く	69.2	67.0	+2.2	+0.7
H24 A7五	はがきの書き方を理解して書く	76.6	73.7	+2.9	
H21 A2二	ひらがなで表記されたものをローマ字で書く(たべもの)	43.3	45.8	-2.5	+2.5
H24 A7六1	ひらがなで表記された作品名をローマ字で書く(たけくらべ)	88.8	88.8	0.0	
H21 A2三	ローマ字で表記されたものを正しく読む(happa)	52.9	51.9	+1.0	+1.5
H24 A7六2	ローマ字で表記された作品名を読み、ひらがなと漢字で正しく書く(tosa nikki)	84.4	81.9	+2.5	
H21 B2二	自分の立場や意図を明確にして話し合う	25.4	25.7	-0.3	+0.6
H24 B1三	相手の発言を注意して聞き、自分の考えを書く	20.0	19.7	+0.3	
H21 B1二	目的や意図に応じて、事象や意見などを関係付けながら書く	17.5	17.7	-0.2	+0.6
H24 B2三	資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書く	68.8	68.4	+0.4	

<数学>

	設問の概要	長野県	全国	差	経年差
H21A2(1)	数直線上に示された数を読み取る(10600)	60.8	64.1	-3.3	+1.4
H24A1(3)	数直線上に示された負の整数を読み取る(-970)	64.5	66.4	-1.9	
H21A2(4)	与えられた数の中から偶数を選択する	77.6	77.4	+0.2	-0.1
H24A2(3)	整数 a を用いて、式 $2a$ で表すことのできる数を選ぶ	36.7	36.6	+0.1	
H21A5(1)	四角形を1本の対角線で2つの三角形に分けたとき、四角形の内角の和を求める式を答える	67.5	67.9	-0.4	+1.5
H24A6(2)	n 角形の内角の和を求める式で、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ	46.8	45.7	+1.1	

※数学B問題については、関連のある問題がない

A問題については、小学校6年時の平成21年度に比べ、全国との差がプラス方向になっており、小学校での基礎的・基本的な知識・技能等が中学校においても定着が図られている。一方、国語B問題については、ほぼ差はなく、活用する力を伸ばしきれていない現状が伺える。

4 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

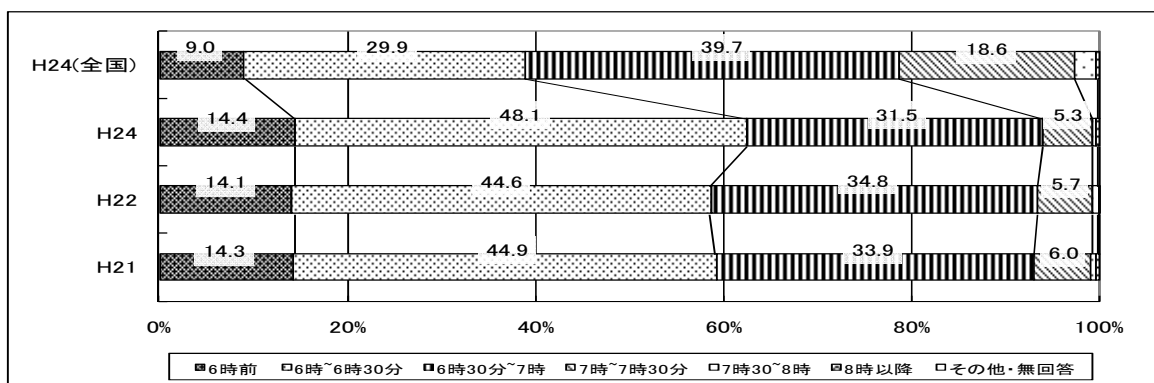
(1) 児童生徒に対する調査

※文章中の値はグラフの数を合算している。例えば、「地域行事参加」児童であれば、「当てはまる」58.6%、「どちらかといえば、当てはまる」28.2%の和である86.8%としている。

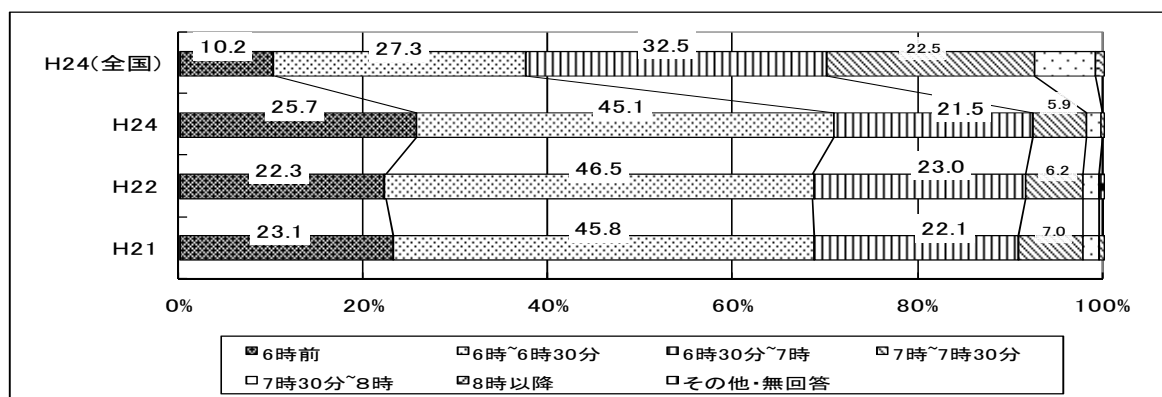
① 早寝早起きであるが、中学生の睡眠時間は短い

「6:30より前に起きる」児童は62.5%、生徒は70.8%、「10:00より前に寝る」児童は61.3%、「11:00より前に寝る」生徒は47.7%である。一方、「8時間以上の睡眠時間をとる」児童は79.6%と、全国よりも多いが、「7時間以上の睡眠時間をとる」生徒は59.1%と、全国よりも睡眠時間が少ない。中学生の家庭での過ごし方をみると「テレビ・ビデオ」、「テレビゲーム」「インターネット」のいずれも2時間以上している生徒は、全国に比べて1～4ポイント少ない。他にも「勉強を2時間以上している」生徒が全国よりも7ポイント少ないことも合わせてみると、家庭で過ごす時間が短く、部活動等に多くの時間を費やす中学生の生活ぶりが伺える。

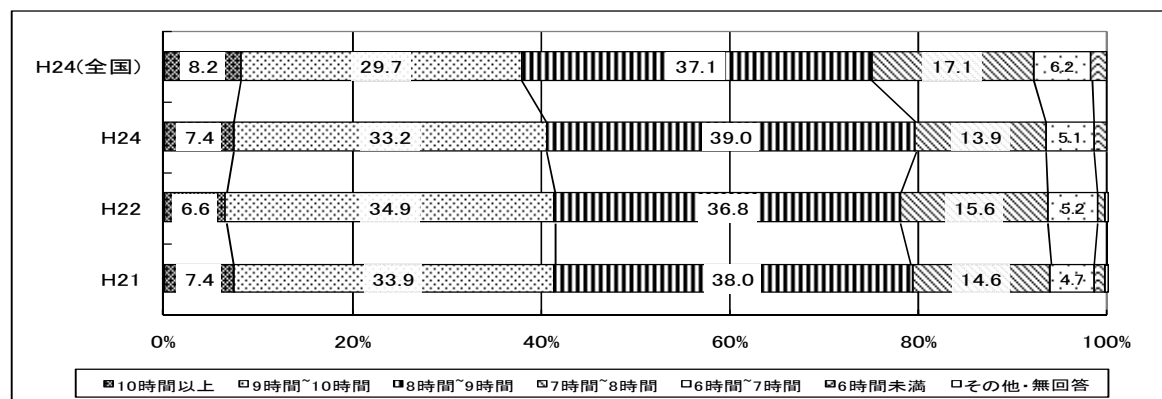
普段（月～金曜日）、何時ごろに起きますか（小学校）



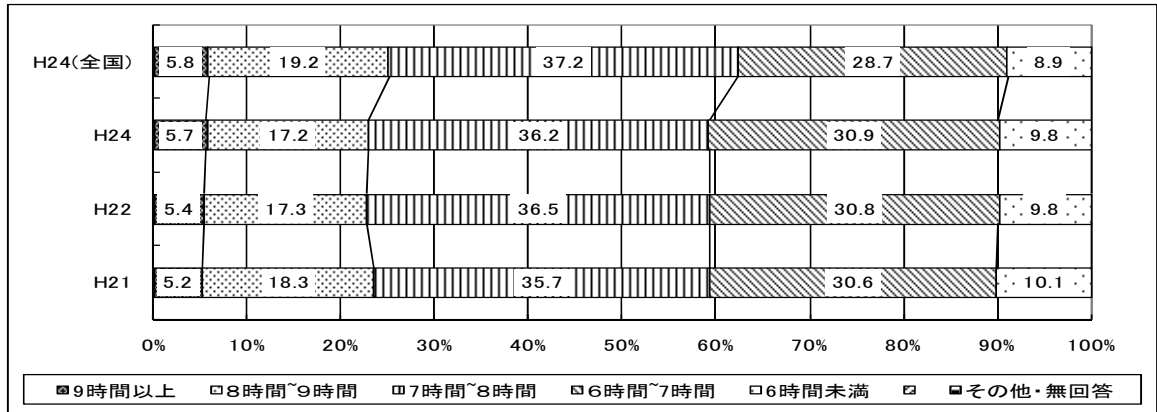
普段（月～金曜日）、何時ごろに起きますか（中学校）



普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠時間をとることが最も多いですか（小学校）



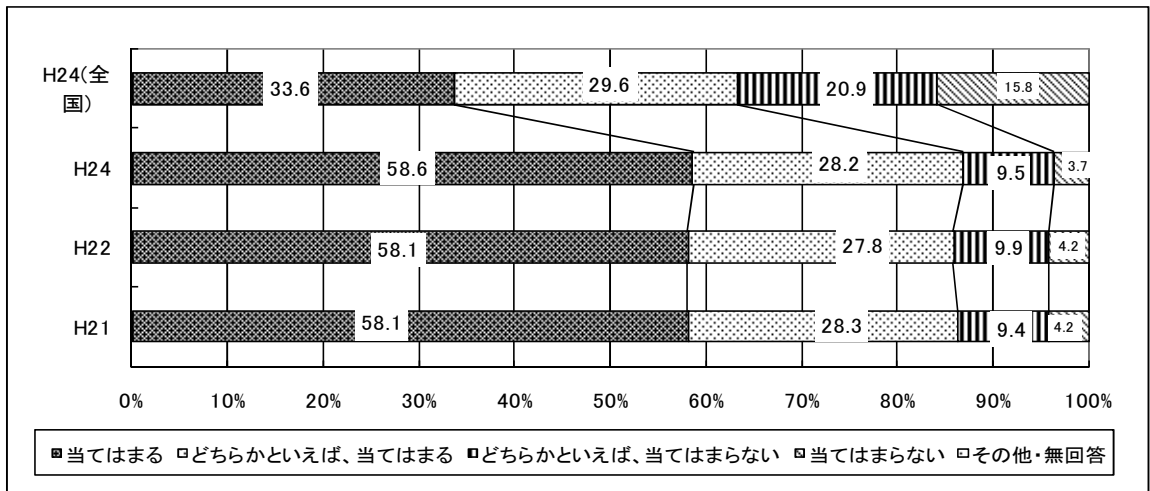
普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠時間をとることが最も多いですか（中学校）



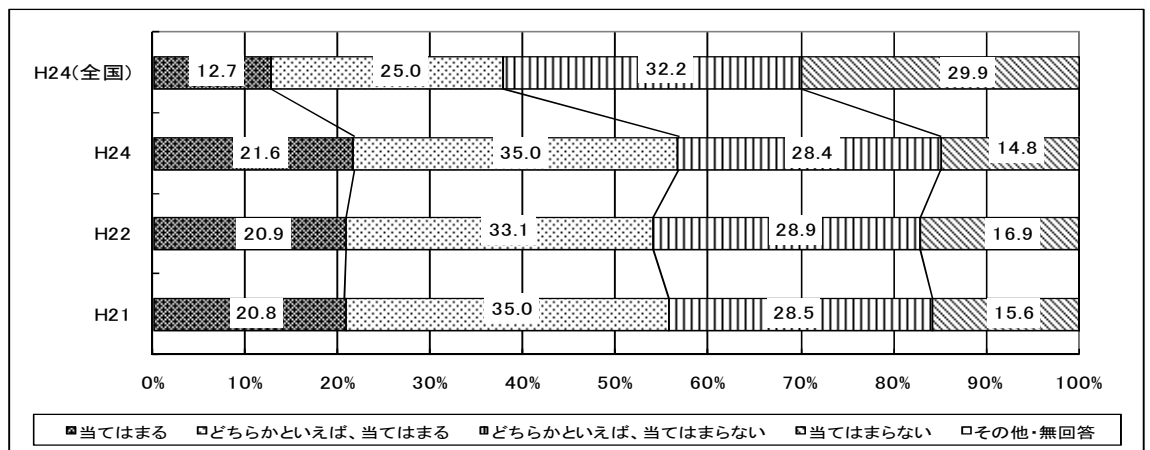
② 地域の行事に参加する割合が高い

「今住んでいる地域の行事に参加している」児童は 86.8%、生徒は 56.6%である。また、「近所の人に会ったときは、あいさつをしている」児童は 94.2%、生徒は 89.0%である。いずれの項目も全国平均よりも高く、平成 22 年度に比べ 1～3 ポイント肯定的回答が増加した。本県の児童生徒は、地域との関わりが深いという実態がある。

今住んでいる地域の行事に参加していますか（小学校）



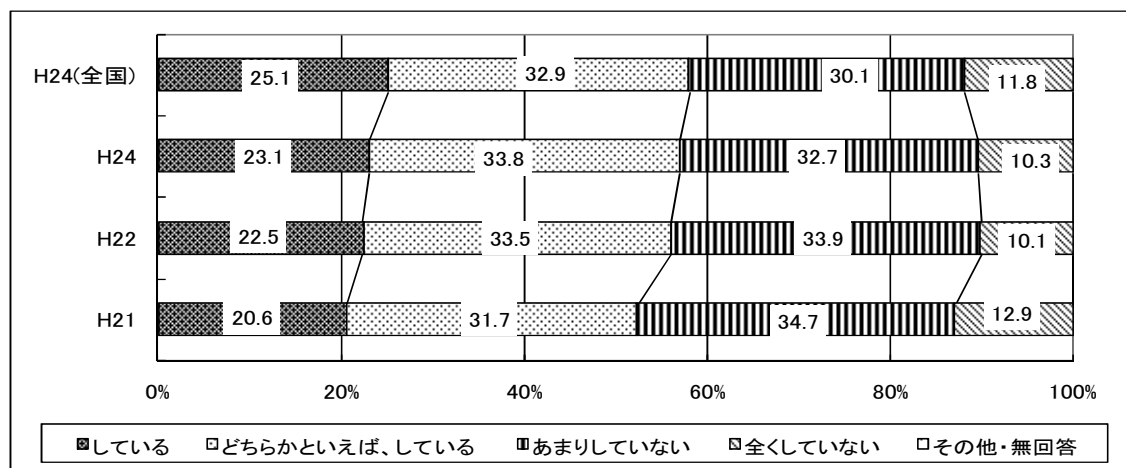
今住んでいる地域の行事に参加していますか（中学校）



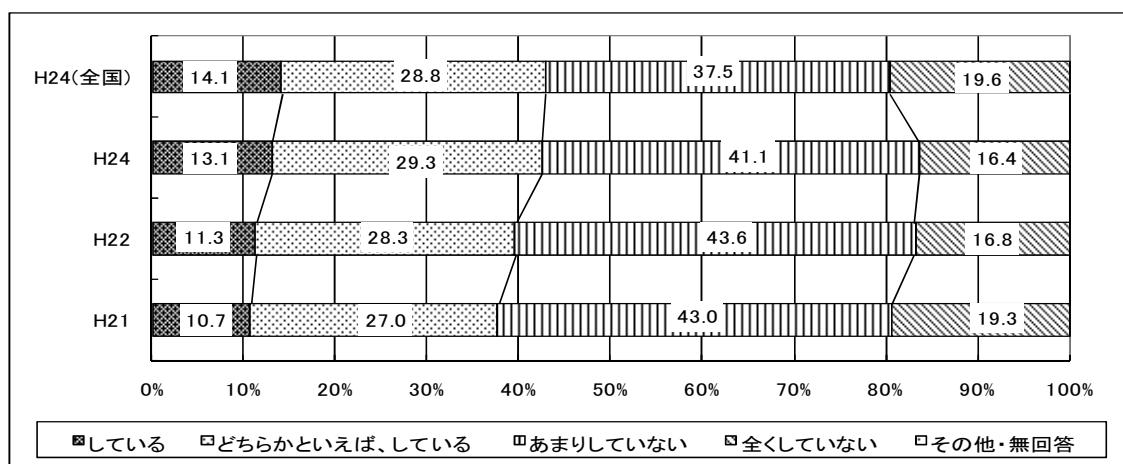
③ 授業と関連した家庭学習が十分とは言えない

「家で学校の宿題をしている」児童は96.6%、生徒は89.1%であるが、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」児童は56.9%、生徒は42.4%と全国をやや下回る。同様に、「家で学校の授業の予習をしている」児童は35.1%、生徒は18.7%、「家で学校の授業の復習をしている」児童は44.1%、生徒は46.9%であり、中学生の復習を除き、全国を大きく下回る。決められた宿題が授業と関連せずに、予習が不十分である実態が伺える。授業と関連した内容の家庭学習を充実させ、取組の向上を図っていく必要がある。

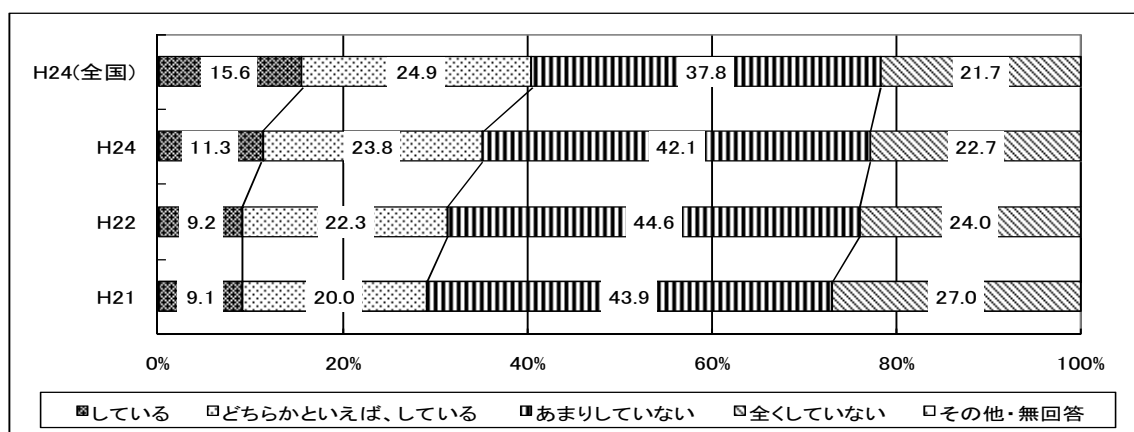
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか（小学校）



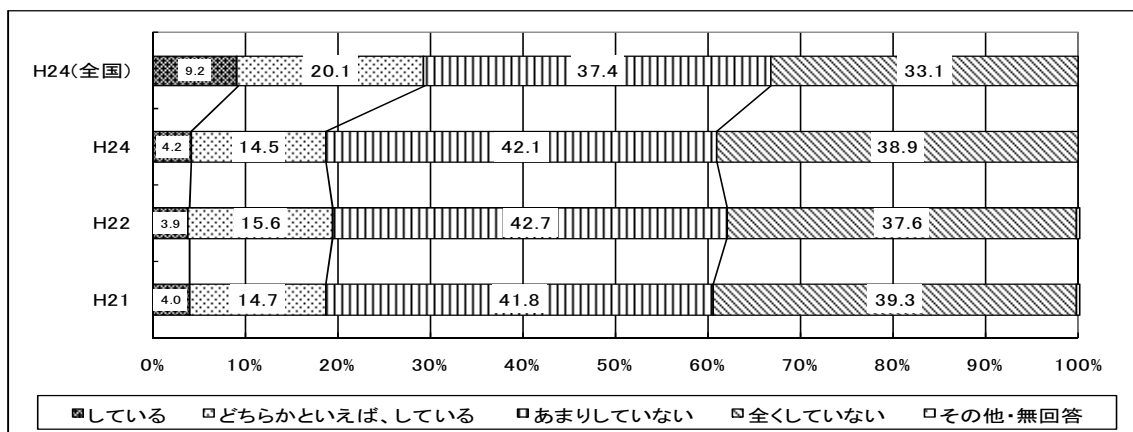
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか（中学校）



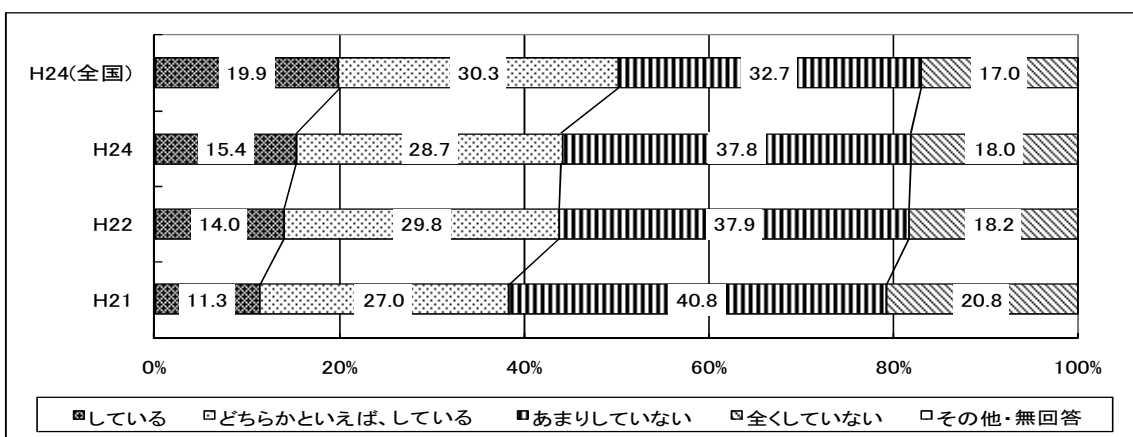
家で学校の授業の予習をしていますか（小学校）



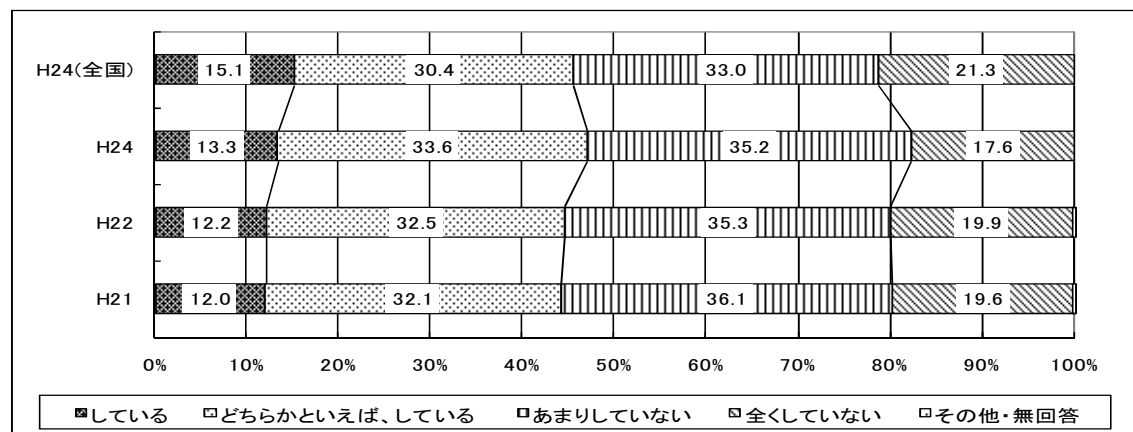
家で学校の授業の予習をしていますか（中学校）



家で学校の授業の復習をしていますか（小学校）



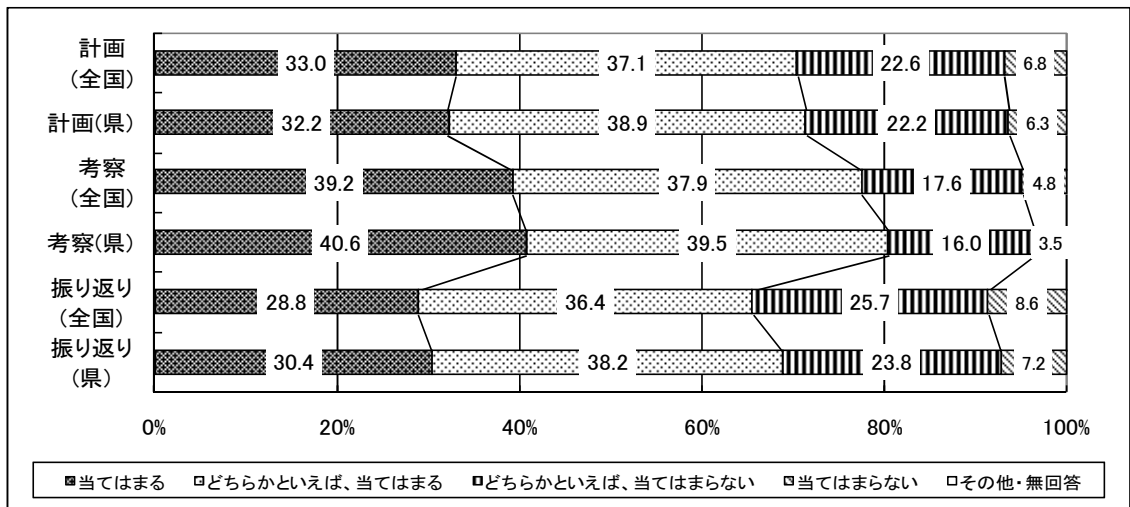
家で学校の授業の復習をしていますか（中学校）



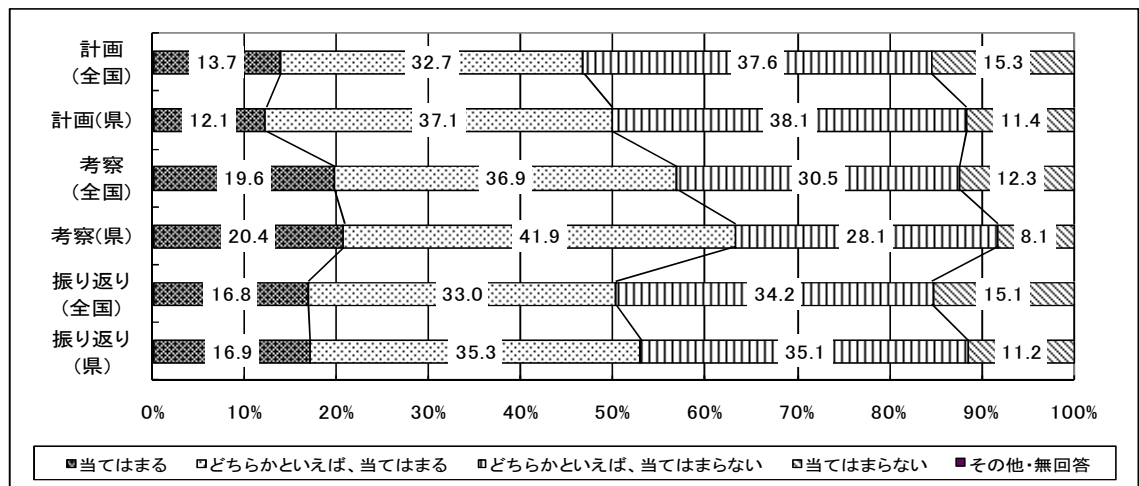
④ 観察・実験が行われている理科

理科の授業での観察・実験について、「自分の予想をもとに計画を立てている」児童は71.1%、生徒は49.2%、「結果をもとに考察している」児童は80.1%、生徒は62.3%、「進め方や考え方がまちがっていないか振り返って考えている」児童は68.6%、生徒は52.2%と、いずれも全国を上回っている。観察・実験などを重視した学習が行われていることが考えられる。

「自分の予想をもとに計画を立てていますか」「結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか」
 「進め方や考え方がまちがっていないかをふり返って考えていますか」（小学校）



「自分の予想をもとに計画を立てていますか」「結果をもとに考察していますか」「進め方や考え方がまちがっていないかをふり返って考えていますか」（中学校）



⑤ 「共育」クローバープランの観点から

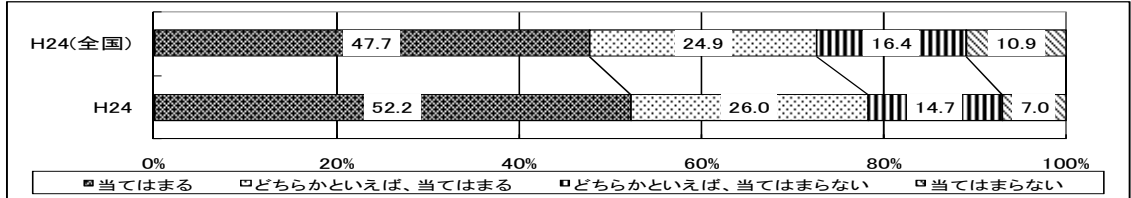
- ㊦本を読む…読書に対して関心が高い
- ㊧汗を流す…家の手伝いができる
- ㊨あいさつ・声かけをする…あいさつがよくできる
- ㊩スイッチをきる…TV・インターネット等が少ない



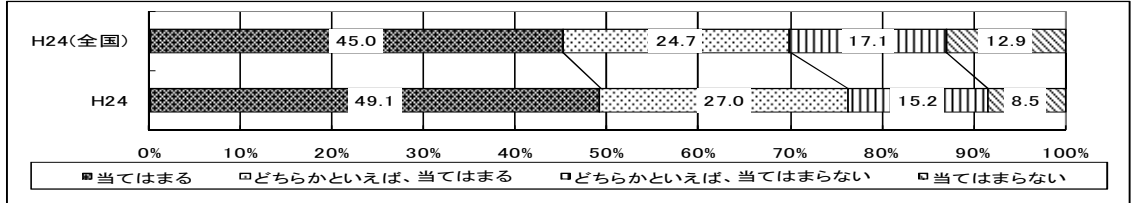
「共育」クローバープラン

- ㊦「1日当たり30分以上読書をしている」児童は全国に比べて2.7ポイント、生徒は1.8ポイント高く、「読書が好き」な児童は5.6ポイント、生徒は6.4ポイント高い、など読書に対して関心が高い。
- ㊧「家の手伝いをしている」児童は全国に比べて2.6ポイント、生徒は4.0ポイント高い。
- ㊨「近所の人に会ったときは、あいさつをしている」児童は94.2%、生徒は89.0%と22年度よりも、1～3ポイント高くなった。
- ㊩『テレビ・ビデオ』、『テレビゲーム』、『インターネット』を2時間以上している児童生徒は、全国に比べていずれも1～4ポイント低い。

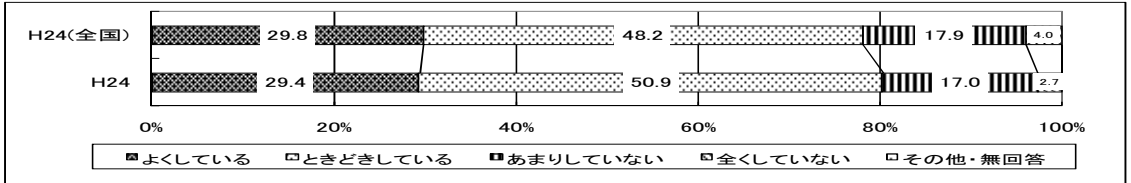
読書が好きですか（小学校）



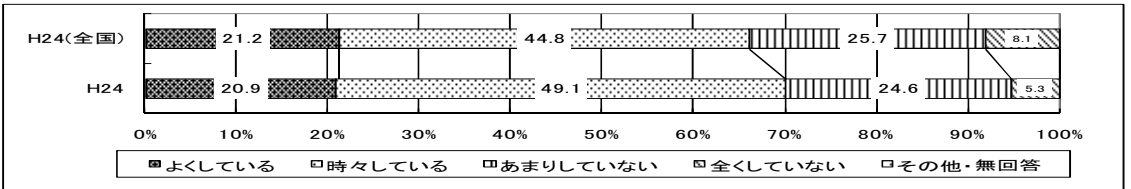
読書が好きですか（中学校）



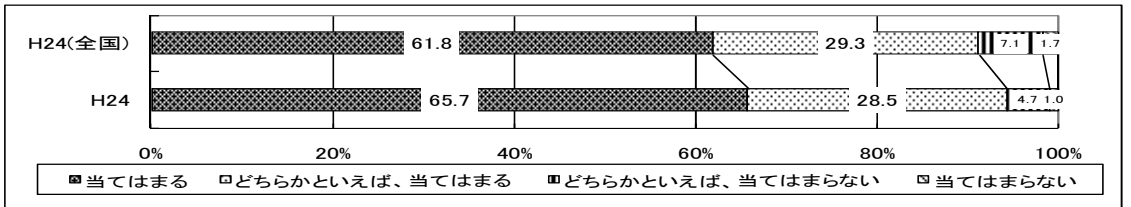
家の手伝いをしていますか（小学校）



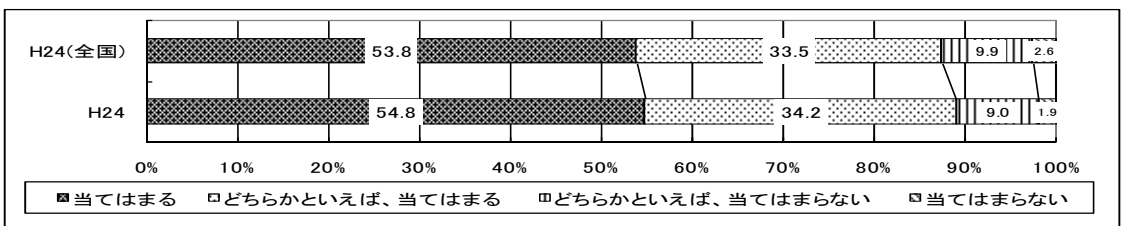
家の手伝いをしていますか（中学校）



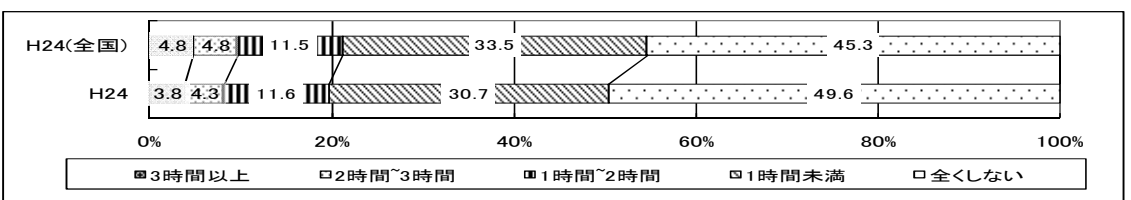
近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか（小学校）



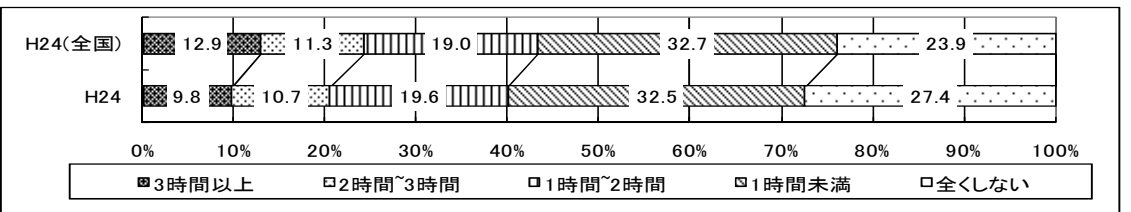
近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか（中学校）



普段、1日当たりどれくらいの時間、インターネット（携帯含む）をしますか（小学校）



普段、1日当たりどれくらいの時間、インターネット（携帯含む）をしますか（中学校）

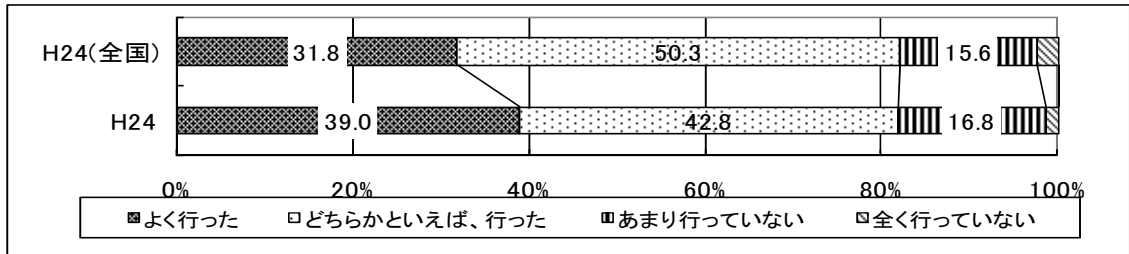


(2) 学校に対する調査

① 外部講師として招聘した授業の増加（小学校）

「地域の人材を外部講師として招聘した授業をよく行った」小学校は 39.0%、中学校は 16.3%であり、小学校では22年度よりも12.2ポイント増え、全国を上回っている。ただし、「ボランティア等による授業サポートを行った」小学校は 22.3%、中学校は 18.5%であり、全国に比べ、小学校で23ポイント少なく、中学校で5ポイント少ない。

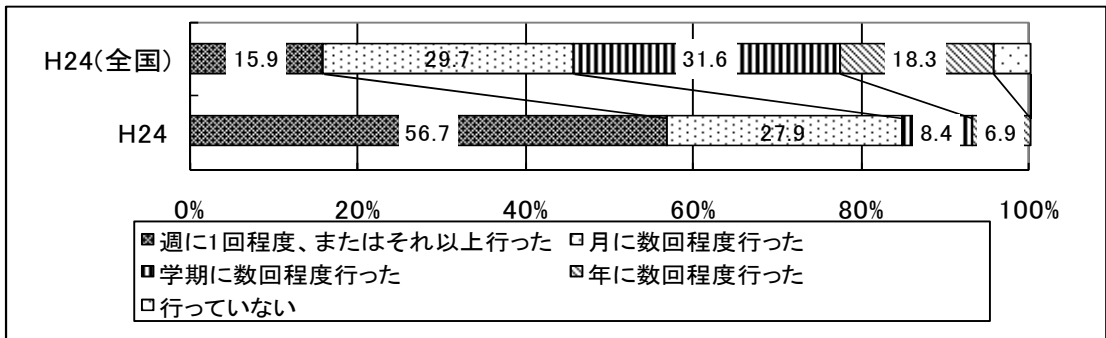
地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか。（小学校）



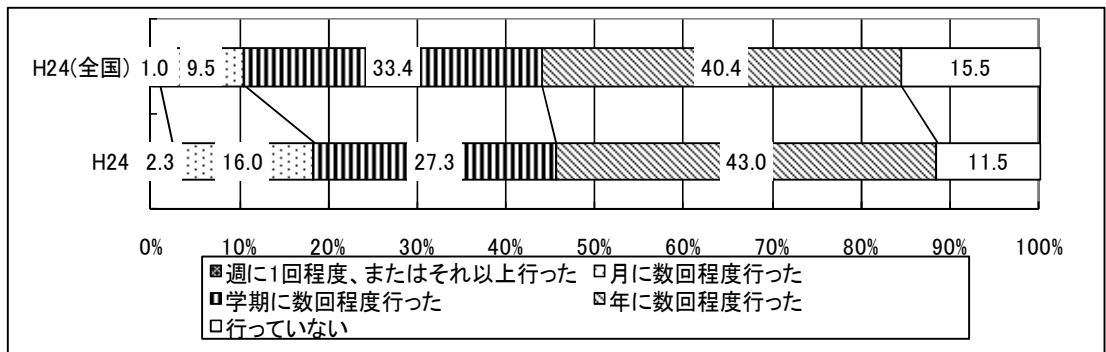
② 学校図書館を活用した授業が多い

「学校図書館を活用した授業を計画的に行った」小学校は 56.7%（週に1回程度）、中学校は 18.3%（月に数回程度）であり、全国よりも図書館を活用している。

学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。（小学校）



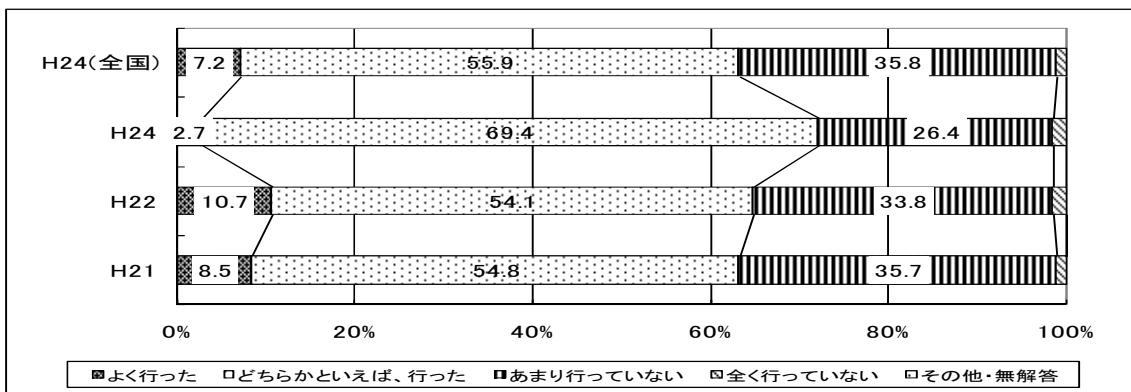
学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。（中学校）



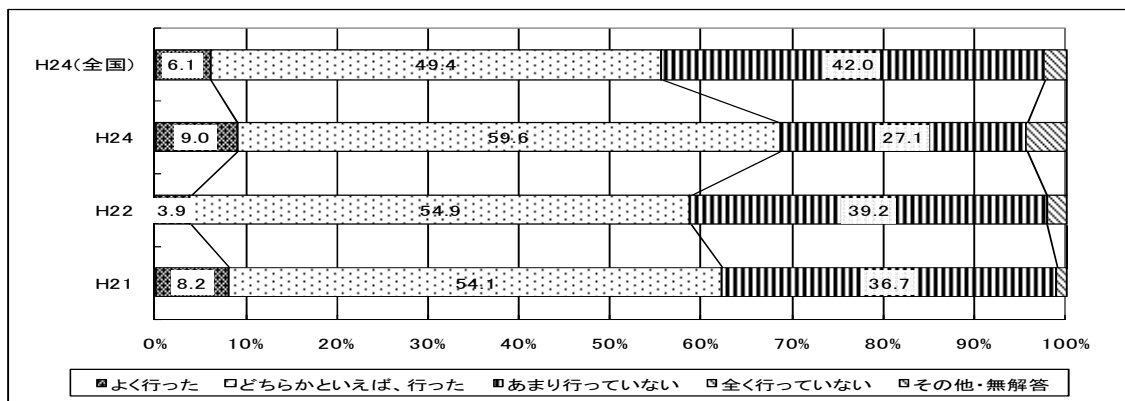
③ 実生活における事象との関連を図った授業は増加傾向

「算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」小学校は 72.1%、中学校は 68.6%であり、以前よりも増加傾向が伺え、全国も同じ傾向である。

算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。(小学校)



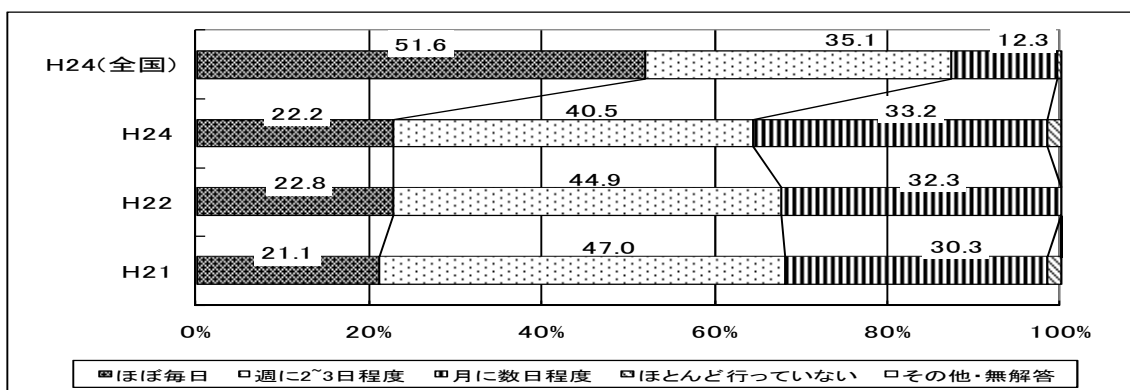
数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。(中学校)



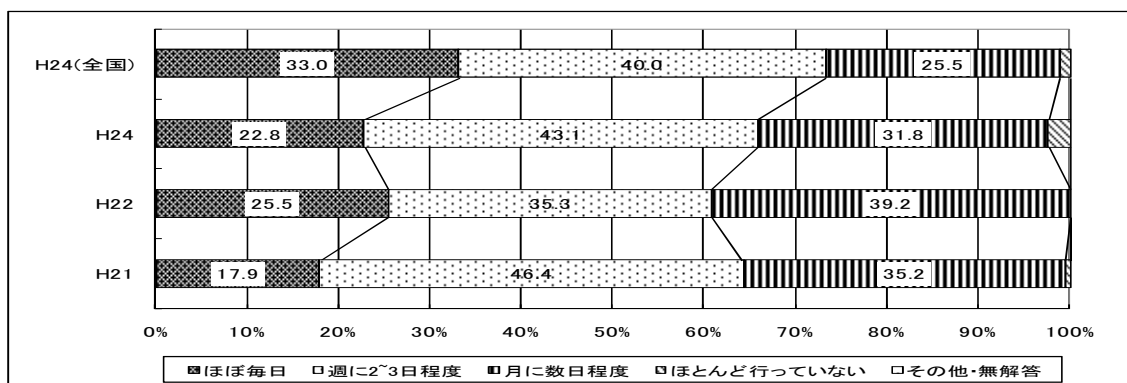
④ 校長の校内授業参観は少ない

「校長が、校内の授業をほぼ毎日見て回っている」小学校は22.2%、中学校は22.8%であり、全国と比べ、少ない結果となっている。

校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。(小学校)



校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。(中学校)



5 考察と今後の方向

(1) 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けている

国語の漢字や文の書き直し等の言語事項についての知識・理解・技能を問う問題で、小中学校ともに全国に比べて正答率が高い。また、算数・数学では、全国的に正答率の高かった問題で、全国を上回る正答率となっている。四則計算や簡潔な条件に合う解答を考える問題に対しては、誠実に取り組む児童生徒が多く、学校全体の正答率が高くなっている。

「授業がもっとよくなる3観点」を意識した授業における「見とどけ」を重視する取組や、「クリア・チャレンジ問題」の活用を引き続き促していき、基礎的・基本的な知識・技能の定着を今後も図られるようにしていく。

学校	教科	長野県	全国(公立)
小学校	国語A	81.8～83.0	81.4～81.7
	算数A	72.4～74.1	73.1～73.5
中学校	国語A	75.6～77.0	75.0～75.2
	数学A	61.2～63.5	62.0～62.3

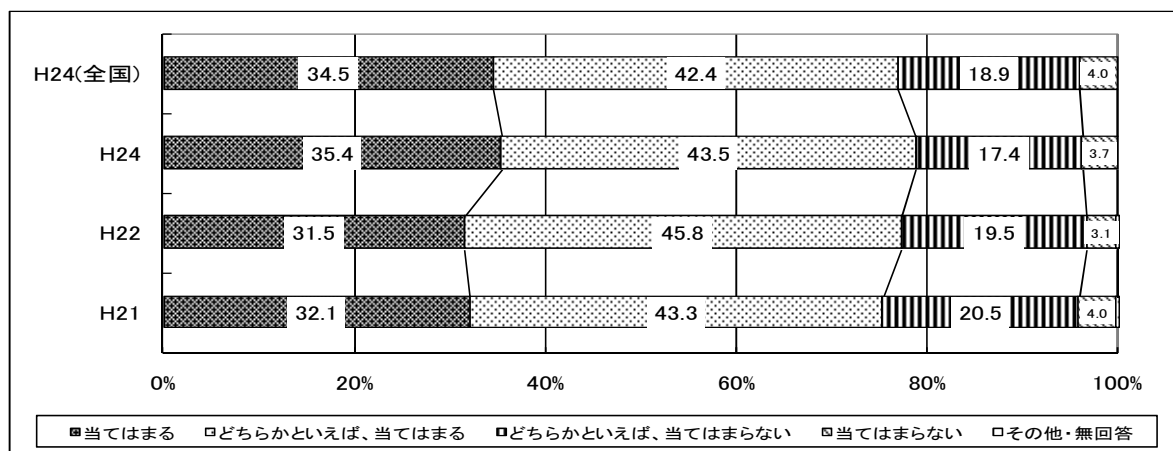
(2) 言葉で説明する力が弱い

数学で図形の性質などを用いて問題解決の方法を数学的に説明する問題や、理科で根拠や実験方法を説明する問題など、「言葉で説明すること」に共通して課題が見られる。(P6参照)

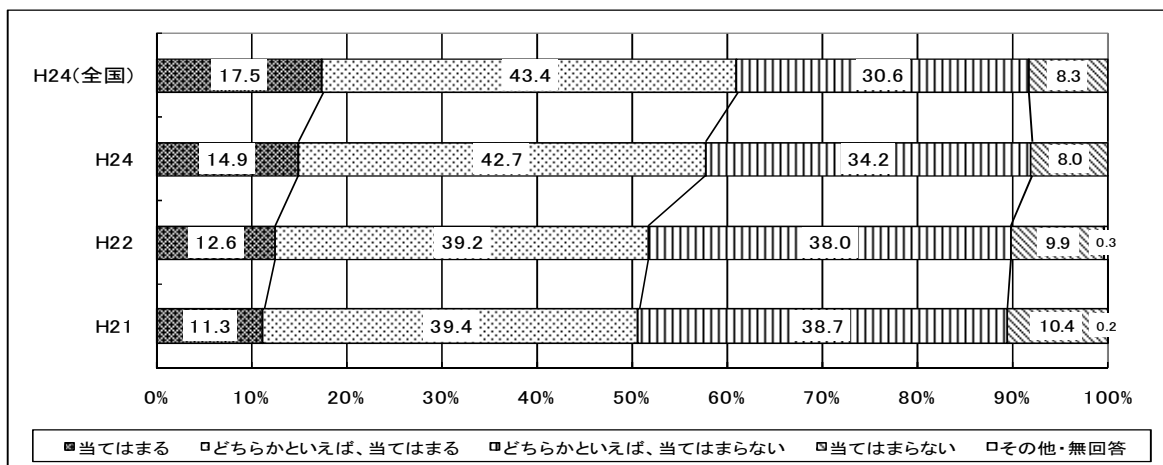
また、質問紙調査においても、「普段の授業で児童生徒の間で話し合う活動をよく行っている」児童は78.9%、生徒は57.6%と、小学生は22年度と同様に全国を上回っているが、中学生は増加しつつも、全国を下回っている。さらに、学校質問紙で、国語の指導として、話したり聞いたりする授業をよく行っている割合は、小学校で12.4%、中学校で11.7%と、全国に及ばない。

授業において、事象の結果に至る過程を説明する学習活動や、レポートにまとめて意見交換する学習活動などをより多く位置付けて、言葉で説明する機会を増やしていく。

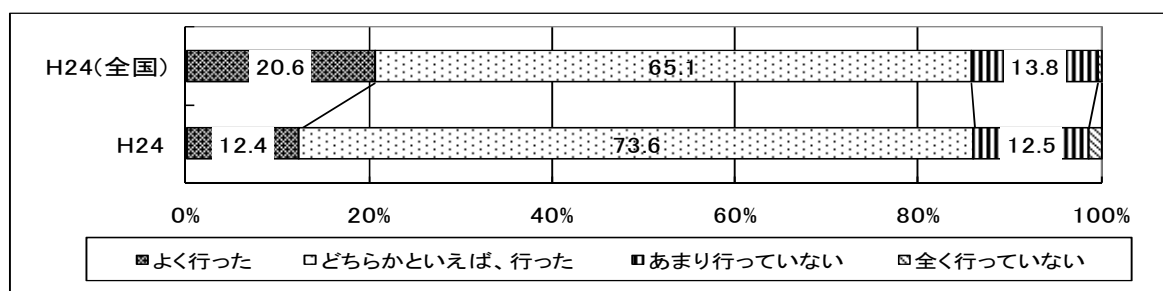
普段の授業では、児童の間で話し合う活動を行っていますか（小学校）



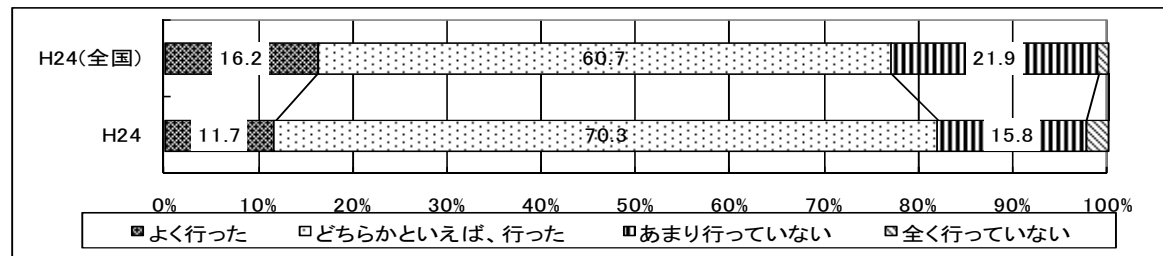
普段の授業では、生徒の間で話し合う活動を行っていますか（中学校）



国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか（小学校）



国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか（中学校）



(3) 小学生は粘り強く問題に取り組んでいる

設問別の無解答率を見てみると、小学校では、表2のように、多くの問題で国より県の方が無解答率が低い。一方、中学校では、表3のように多くの問題で国より県の方が無解答率が高い。数学では、示された条件に基づいて数学的な表現を用いて説明する問題の無解答率が高い。理科では、根拠や実験方法を説明したり、観察・実験から求める式を書き、答えを導き出したりする問題の無解答率が高い。

表2 小学校で無解答率の高かった問題（一部）

教科	県の無解答率	国の無解答率	番号	内容
国語B	11.7%	14.5%	2二	質問したい内容を明確にして発表する
国語B	14.6%	17.0%	3四	事実を基にして自分の考えをもつ
算数B	10.1%	10.9%	4(3)	条件を基に重さの求め方を記述する
理科	6.1%	6.7%	4(5)	気温の変化を表したグラフの選んだ理由を書く

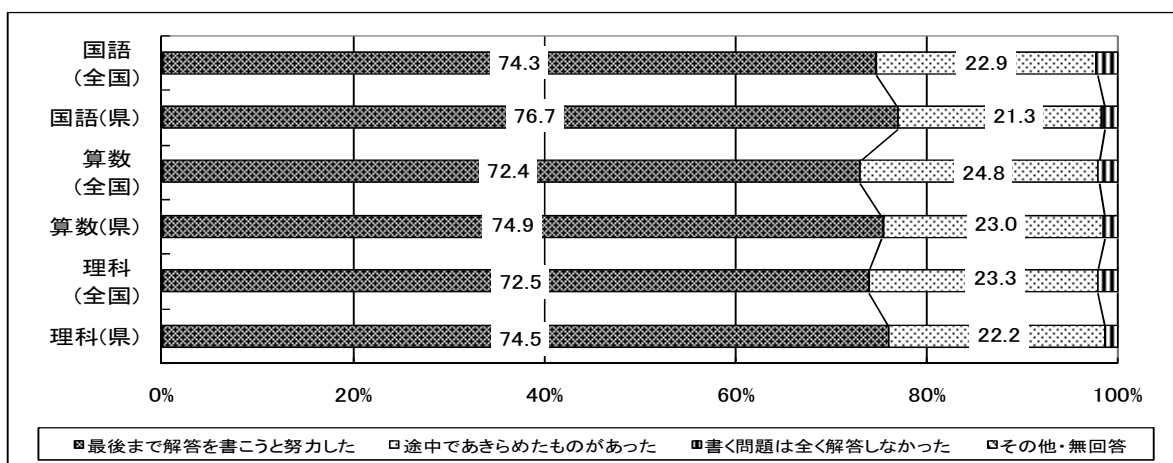
表3 中学校で無解答率の高かった問題（一部）

教科	県の無解答率	国の無解答率	番号	内 容
国語B	14.8%	13.9%	1 三	相手の発言に注意して聞き、自分の考えを書く
数学B	28.1%	24.1%	2 (1)	連続する3つの自然数の和が3の倍数を説明する
数学B	45.7%	43.5%	5 (3)	辺の長さを求める方法を説明する
理科	42.5%	41.1%	2 (6)	消費する電力量の差を求める式を書き、差を求める

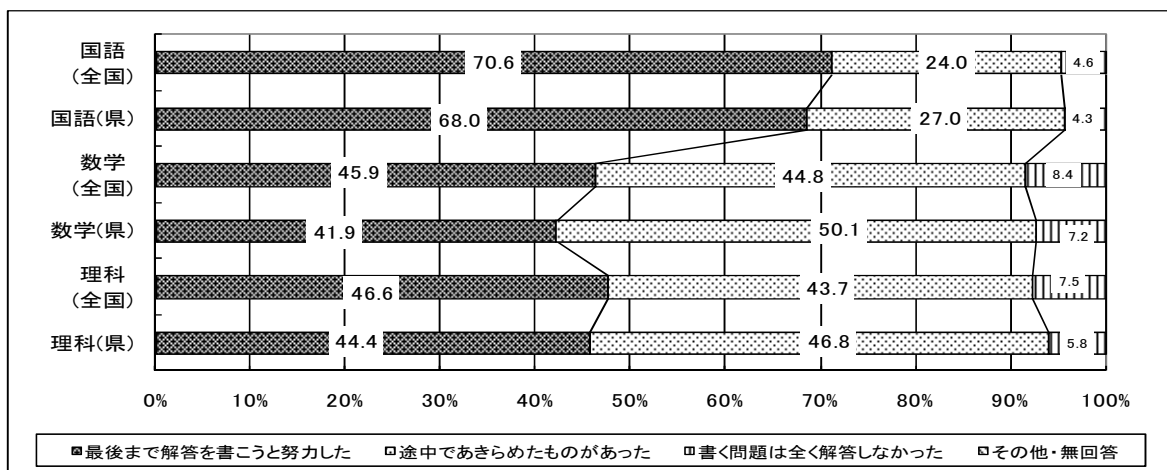
また、質問紙調査においても同様の傾向で、「書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した」児童は、国語・算数・理科のいずれも全国を2～3ポイント上回っている。逆に、生徒は、国語・数学・理科のいずれも全国を2～4ポイント下回っている。粘り強く問題に取り組む小学生が多い一方で、中学生は、最後まで粘り強く問題に取り組むことに課題がある。

文章で記述する学習や、それを推敲する学習を普段の授業から行い、問題を読み、すぐには解けない問題にも、まずはできるところまで粘り強く追究する力を育む授業を進めていく。

書く問題について、どのように解答しましたか（国語・算数・理科）（小学校）



書く問題について、どのように解答しましたか（国語・数学・理科）（中学校）



資料

平成24年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

実施概況

全国一都道府県（公立）

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

	国語A		国語B		算数A		算数B		理科	
	平均正答数	平均正答率の 95%信頼区間(%)	平均正答数	平均正答率の 95%信頼区間(%)	平均正答数	平均正答率の 95%信頼区間(%)	平均正答数	平均正答率の 95%信頼区間(%)	平均正答数	平均正答率の 95%信頼区間(%)
全国（国公立）	13.9 / 17	81.6 - 81.9	6.1 / 11	55.6 - 56.0	14.0 / 19	73.3 - 73.7	7.7 / 13	59.0 - 59.4	14.7 / 24	60.9 - 61.3
全国（公立）	13.9 / 17	81.4 - 81.7	6.1 / 11	55.4 - 55.8	13.9 / 19	73.1 - 73.5	7.7 / 13	58.7 - 59.1	14.6 / 24	60.8 - 61.1
北海道	13.4 / 17	78.3 - 79.6	5.9 / 11	52.6 - 54.4	13.2 / 19	68.7 - 70.4	7.2 / 13	54.7 - 56.8	14.1 / 24	58.0 - 59.6
青森県	14.4 / 17	84.1 - 85.3	6.5 / 11	57.7 - 59.6	14.7 / 19	76.6 - 78.1	8.0 / 13	60.4 - 62.3	15.8 / 24	65.1 - 66.7
岩手県	14.1 / 17	81.8 - 83.6	6.2 / 11	55.0 - 57.7	14.1 / 19	73.1 - 75.2	7.5 / 13	56.5 - 58.9	15.1 / 24	62.1 - 64.1
宮城県	13.9 / 17	81.2 - 82.3	6.2 / 11	55.1 - 56.8	13.8 / 19	71.9 - 73.5	7.6 / 13	57.2 - 59.1	14.9 / 24	61.4 - 62.9
秋田県	14.8 / 17	86.4 - 87.3	6.9 / 11	62.1 - 63.8	15.1 / 19	78.8 - 80.2	8.3 / 13	63.2 - 64.9	16.4 / 24	67.7 - 69.1
山形県	14.0 / 17	81.7 - 83.2	6.0 / 11	54.0 - 55.9	14.0 / 19	72.7 - 74.4	7.3 / 13	55.1 - 57.0	15.2 / 24	62.4 - 64.1
福島県	13.9 / 17	80.9 - 82.5	6.1 / 11	53.9 - 56.3	13.9 / 19	72.0 - 73.8	7.3 / 13	55.1 - 57.5	14.8 / 24	60.7 - 62.8
茨城県	14.0 / 17	81.9 - 83.1	6.3 / 11	56.2 - 58.1	14.2 / 19	73.9 - 75.5	7.8 / 13	59.3 - 61.2	15.1 / 24	62.2 - 64.0
栃木県	13.7 / 17	79.7 - 81.0	6.0 / 11	53.2 - 55.2	13.8 / 19	71.8 - 73.5	7.4 / 13	55.8 - 57.5	14.3 / 24	58.7 - 60.2
群馬県	13.7 / 17	79.8 - 81.5	5.9 / 11	52.5 - 54.5	13.9 / 19	72.3 - 74.2	7.4 / 13	55.8 - 57.8	14.7 / 24	60.3 - 62.1
埼玉県	13.8 / 17	80.6 - 81.9	6.1 / 11	54.5 - 56.3	13.7 / 19	71.3 - 72.9	7.6 / 13	57.8 - 59.6	14.5 / 24	59.6 - 61.2
千葉県	13.9 / 17	80.9 - 82.3	6.3 / 11	56.4 - 58.3	14.0 / 19	72.6 - 74.5	7.8 / 13	59.3 - 61.3	15.0 / 24	61.8 - 63.3
東京都	14.2 / 17	82.7 - 84.0	6.4 / 11	56.8 - 58.8	14.2 / 19	73.9 - 75.6	8.1 / 13	61.6 - 63.6	15.1 / 24	62.1 - 63.7
神奈川県	13.8 / 17	80.3 - 81.8	6.1 / 11	54.7 - 56.8	13.8 / 19	71.4 - 73.4	7.8 / 13	59.0 - 61.3	14.6 / 24	59.8 - 61.7
新潟県	13.9 / 17	81.2 - 82.6	6.1 / 11	54.6 - 56.8	14.1 / 19	73.3 - 75.1	7.6 / 13	57.7 - 59.9	14.8 / 24	60.7 - 62.8
富山県	14.2 / 17	82.8 - 84.3	6.6 / 11	59.3 - 61.5	14.5 / 19	75.7 - 77.3	8.0 / 13	60.2 - 62.4	15.7 / 24	64.6 - 66.6
石川県	14.4 / 17	84.2 - 85.4	6.6 / 11	59.4 - 61.2	14.9 / 19	77.4 - 79.2	8.3 / 13	62.5 - 64.6	16.0 / 24	65.7 - 67.4
福井県	14.6 / 17	85.1 - 86.3	6.6 / 11	59.2 - 61.2	14.9 / 19	77.4 - 79.2	8.2 / 13	61.6 - 64.0	16.1 / 24	66.1 - 68.1
山梨県	13.7 / 17	80.1 - 81.5	6.0 / 11	53.9 - 55.8	13.6 / 19	70.6 - 72.5	7.4 / 13	56.2 - 58.3	14.7 / 24	60.3 - 62.3
長野県	14.0 / 17	81.8 - 83.0	6.1 / 11	54.9 - 56.7	13.9 / 19	72.4 - 74.1	7.6 / 13	57.6 - 59.6	14.7 / 24	60.3 - 62.0
岐阜県	13.7 / 17	79.8 - 81.2	6.0 / 11	53.5 - 56.2	13.7 / 19	70.8 - 73.2	7.5 / 13	56.3 - 58.8	14.8 / 24	60.7 - 62.7
静岡県	13.7 / 17	79.7 - 81.1	6.0 / 11	53.2 - 55.1	13.7 / 19	71.2 - 73.1	7.5 / 13	56.5 - 58.7	13.9 / 24	57.1 - 59.1
愛知県	13.7 / 17	79.8 - 81.4	6.1 / 11	54.0 - 56.1	13.7 / 19	71.1 - 73.0	7.7 / 13	58.3 - 60.4	14.4 / 24	59.3 - 61.0
三重県	13.5 / 17	79.0 - 80.2	5.8 / 11	51.8 - 53.5	13.7 / 19	71.4 - 73.0	7.4 / 13	56.0 - 57.6	13.9 / 24	57.2 - 58.8
滋賀県	13.7 / 17	79.5 - 81.2	5.9 / 11	52.5 - 55.0	13.5 / 19	70.1 - 72.2	7.3 / 13	55.0 - 57.5	14.0 / 24	57.4 - 59.6
京都府	14.2 / 17	82.7 - 83.8	6.4 / 11	57.2 - 59.1	14.5 / 19	75.7 - 77.3	8.0 / 13	60.9 - 62.7	15.0 / 24	61.6 - 63.2
大阪府	13.7 / 17	79.8 - 81.3	5.9 / 11	52.5 - 54.4	14.1 / 19	73.3 - 75.1	7.6 / 13	57.3 - 59.5	13.9 / 24	56.9 - 58.8
兵庫県	14.0 / 17	81.7 - 83.1	6.1 / 11	54.5 - 56.4	14.0 / 19	73.0 - 74.8	7.7 / 13	58.4 - 60.3	14.3 / 24	58.9 - 60.6
奈良県	14.0 / 17	81.9 - 83.3	6.3 / 11	55.8 - 58.0	14.3 / 19	74.6 - 76.4	7.8 / 13	58.9 - 61.1	14.8 / 24	60.8 - 62.6
和歌山県	13.6 / 17	79.2 - 80.7	5.7 / 11	50.9 - 52.9	13.9 / 19	72.0 - 73.8	7.4 / 13	55.8 - 57.7	13.9 / 24	57.2 - 58.9
鳥取県	14.1 / 17	82.5 - 83.9	6.2 / 11	55.0 - 57.3	13.8 / 19	72.0 - 73.7	7.4 / 13	56.2 - 58.3	14.3 / 24	58.6 - 60.6
島根県	13.8 / 17	80.4 - 82.3	6.2 / 11	55.2 - 57.4	13.5 / 19	69.8 - 72.0	7.3 / 13	55.2 - 57.5	14.7 / 24	59.8 - 62.3
岡山県	13.6 / 17	79.7 - 80.9	5.9 / 11	52.3 - 54.4	13.3 / 19	69.1 - 71.0	7.2 / 13	54.6 - 56.7	14.4 / 24	58.9 - 60.8
広島県	14.2 / 17	83.0 - 84.3	6.4 / 11	57.1 - 59.1	14.3 / 19	74.6 - 76.3	7.9 / 13	59.5 - 61.6	15.1 / 24	62.0 - 63.7
山口県	14.0 / 17	81.7 - 82.9	6.2 / 11	55.3 - 57.4	14.0 / 19	72.6 - 74.4	7.5 / 13	57.0 - 59.1	14.7 / 24	60.3 - 62.2
徳島県	14.1 / 17	82.0 - 83.4	6.1 / 11	54.4 - 56.9	14.0 / 19	72.6 - 74.4	7.5 / 13	56.2 - 58.7	14.3 / 24	58.3 - 60.5
香川県	14.3 / 17	83.2 - 84.5	6.6 / 11	58.8 - 60.8	14.2 / 19	73.9 - 75.7	8.0 / 13	60.4 - 62.4	15.4 / 24	63.5 - 65.2
愛媛県	13.7 / 17	80.0 - 81.3	6.1 / 11	54.5 - 56.3	13.9 / 19	72.5 - 74.1	7.7 / 13	58.6 - 60.4	14.4 / 24	59.4 - 61.0
高知県	14.0 / 17	81.5 - 82.7	5.9 / 11	52.4 - 54.3	14.2 / 19	73.9 - 75.6	7.5 / 13	57.1 - 59.1	14.3 / 24	58.8 - 60.4
福岡県	13.9 / 17	80.9 - 82.3	6.0 / 11	53.4 - 55.4	13.8 / 19	72.1 - 73.7	7.5 / 13	57.0 - 58.9	14.4 / 24	59.0 - 60.8
佐賀県	13.9 / 17	80.9 - 82.4	5.9 / 11	52.9 - 54.9	13.9 / 19	72.4 - 74.2	7.5 / 13	56.6 - 58.7	14.6 / 24	59.8 - 61.8
長崎県	13.7 / 17	80.2 - 81.6	6.0 / 11	53.6 - 55.8	13.7 / 19	70.9 - 72.8	7.4 / 13	56.0 - 58.2	14.5 / 24	59.7 - 61.5
熊本県	13.9 / 17	80.8 - 82.2	6.1 / 11	54.0 - 56.1	14.0 / 19	73.1 - 74.6	7.7 / 13	58.2 - 60.2	15.2 / 24	62.7 - 64.4
大分県	13.7 / 17	79.9 - 81.5	5.9 / 11	52.8 - 54.9	14.2 / 19	73.8 - 75.9	7.4 / 13	56.1 - 58.4	14.3 / 24	58.7 - 60.6
宮崎県	14.0 / 17	81.6 - 82.6	6.0 / 11	53.7 - 55.4	14.1 / 19	73.7 - 74.9	7.4 / 13	55.8 - 57.4	14.5 / 24	59.6 - 61.3
鹿児島県	13.8 / 17	80.5 - 81.8	6.0 / 11	53.9 - 55.7	14.1 / 19	73.3 - 74.7	7.6 / 13	57.3 - 59.2	15.2 / 24	62.7 - 64.1
沖縄県	13.1 / 17	76.3 - 77.8	5.7 / 11	50.8 - 52.6	12.6 / 19	65.5 - 67.6	6.9 / 13	52.0 - 53.9	13.3 / 24	54.6 - 56.4

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

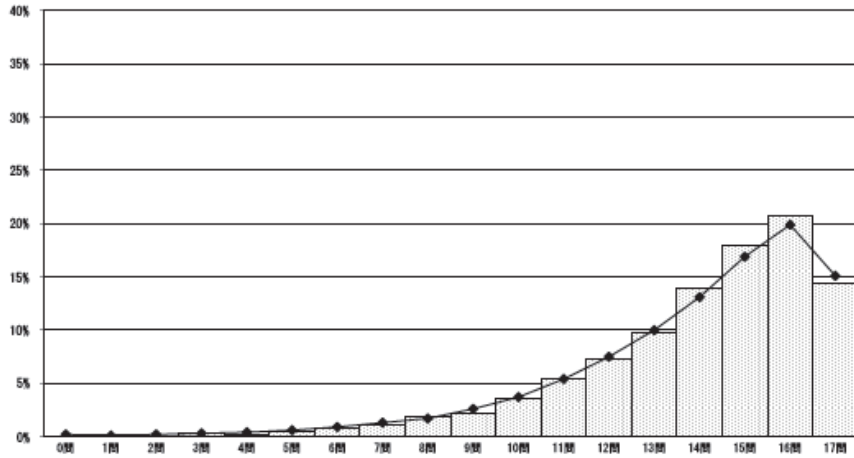
	国語A		国語B		数学A		数学B		理科	
	平均正答数	平均正答率の95%信頼区間(%)	平均正答数	平均正答率の95%信頼区間(%)	平均正答数	平均正答率の95%信頼区間(%)	平均正答数	平均正答率の95%信頼区間(%)	平均正答数	平均正答率の95%信頼区間(%)
全国（国公私立）	24.3 / 32	75.9 - 76.2	5.8 / 9	64.1 - 64.4	22.9 / 36	63.4 - 63.8	7.7 / 15	50.8 - 51.4	13.6 / 26	51.9 - 52.3
全国（公立）	24.0 / 32	75.0 - 75.2	5.7 / 9	63.2 - 63.4	22.4 / 36	62.0 - 62.3	7.4 / 15	49.2 - 49.5	13.3 / 26	50.9 - 51.1
北海道	23.8 / 32	73.6 - 74.8	5.7 / 9	62.4 - 63.8	21.9 / 36	59.9 - 61.6	7.2 / 15	47.1 - 49.1	13.1 / 26	49.8 - 51.3
青森県	24.3 / 32	75.5 - 76.5	5.9 / 9	64.8 - 66.2	22.5 / 36	61.6 - 63.2	7.3 / 15	47.9 - 49.9	13.5 / 26	51.5 - 52.6
岩手県	24.3 / 32	75.2 - 76.6	5.8 / 9	63.3 - 65.1	21.3 / 36	57.8 - 60.3	7.1 / 15	45.9 - 48.9	13.3 / 26	50.0 - 52.1
宮城県	24.4 / 32	75.6 - 76.8	5.9 / 9	64.9 - 66.2	21.9 / 36	59.9 - 61.8	7.6 / 15	49.4 - 51.6	13.7 / 26	52.0 - 53.5
秋田県	25.5 / 32	79.2 - 80.2	6.3 / 9	69.7 - 70.8	24.3 / 36	66.6 - 68.2	8.5 / 15	55.6 - 57.7	14.6 / 26	55.5 - 56.8
山形県	24.8 / 32	76.6 - 78.1	6.0 / 9	66.0 - 67.9	22.4 / 36	61.1 - 63.4	7.5 / 15	48.8 - 51.4	14.3 / 26	54.1 - 55.7
福島県	24.5 / 32	76.0 - 77.2	5.8 / 9	63.6 - 65.2	21.9 / 36	60.0 - 61.9	7.4 / 15	47.9 - 50.4	13.6 / 26	51.3 - 53.1
茨城県	23.9 / 32	74.1 - 75.5	5.9 / 9	64.7 - 65.9	22.3 / 36	61.0 - 62.8	7.6 / 15	49.5 - 51.8	13.6 / 26	51.6 - 53.2
栃木県	24.1 / 32	74.7 - 76.0	5.7 / 9	63.0 - 64.4	22.2 / 36	60.5 - 62.7	7.4 / 15	48.4 - 50.8	13.4 / 26	50.6 - 52.4
群馬県	24.7 / 32	76.6 - 78.0	5.9 / 9	64.7 - 66.2	22.9 / 36	62.7 - 64.7	7.9 / 15	51.8 - 54.1	14.3 / 26	54.3 - 56.1
埼玉県	23.9 / 32	74.1 - 75.3	5.7 / 9	62.5 - 63.8	21.7 / 36	59.3 - 61.1	7.2 / 15	47.1 - 49.1	12.7 / 26	48.1 - 49.6
千葉県	24.0 / 32	74.3 - 75.5	5.7 / 9	62.9 - 64.2	22.1 / 36	60.5 - 62.2	7.3 / 15	47.7 - 49.9	13.0 / 26	49.4 - 50.9
東京都	24.3 / 32	75.4 - 76.7	5.8 / 9	63.3 - 64.7	23.0 / 36	62.8 - 64.8	7.7 / 15	50.1 - 52.6	13.0 / 26	49.3 - 51.0
神奈川県	24.0 / 32	74.3 - 75.6	5.7 / 9	62.9 - 64.2	22.0 / 36	60.3 - 62.2	7.5 / 15	48.7 - 50.9	12.9 / 26	48.9 - 50.3
新潟県	24.0 / 32	74.4 - 75.5	5.6 / 9	62.0 - 63.3	22.0 / 36	60.2 - 62.0	7.1 / 15	46.3 - 48.5	13.1 / 26	49.7 - 51.1
富山県	25.0 / 32	77.6 - 78.6	6.0 / 9	66.4 - 67.5	23.9 / 36	65.7 - 67.2	8.2 / 15	53.7 - 55.5	14.8 / 26	56.1 - 57.6
石川県	24.6 / 32	76.5 - 77.6	6.0 / 9	65.8 - 67.1	23.9 / 36	65.4 - 67.1	8.2 / 15	53.6 - 55.8	14.6 / 26	55.5 - 57.1
福井県	25.2 / 32	78.3 - 79.5	6.1 / 9	66.6 - 68.4	24.5 / 36	67.2 - 69.0	8.4 / 15	55.1 - 57.3	15.0 / 26	57.0 - 58.6
山梨県	24.4 / 32	75.4 - 77.0	5.8 / 9	63.6 - 65.9	21.8 / 36	59.2 - 61.9	7.7 / 15	49.7 - 53.0	13.5 / 26	50.9 - 53.3
長野県	24.4 / 32	75.6 - 77.0	5.7 / 9	62.6 - 65.0	22.4 / 36	61.2 - 63.5	7.3 / 15	47.1 - 50.4	13.2 / 26	49.7 - 52.2
岐阜県	24.2 / 32	75.1 - 76.2	5.9 / 9	65.2 - 66.5	23.4 / 36	64.2 - 66.0	8.0 / 15	52.0 - 54.1	14.2 / 26	53.6 - 55.3
静岡県	24.4 / 32	75.6 - 76.6	5.8 / 9	63.4 - 64.7	23.5 / 36	64.5 - 66.1	7.9 / 15	51.7 - 53.7	13.8 / 26	52.4 - 54.0
愛知県	24.1 / 32	74.7 - 75.8	5.7 / 9	63.0 - 64.2	23.4 / 36	64.2 - 65.8	7.6 / 15	49.9 - 51.9	14.0 / 26	53.0 - 54.4
三重県	23.7 / 32	73.3 - 74.7	5.5 / 9	60.4 - 61.8	22.2 / 36	60.7 - 62.6	7.2 / 15	46.9 - 49.1	13.1 / 26	49.7 - 51.4
滋賀県	23.9 / 32	74.2 - 75.3	5.6 / 9	61.4 - 62.6	22.7 / 36	62.2 - 63.8	7.3 / 15	47.4 - 49.3	13.3 / 26	50.4 - 51.8
京都府	23.9 / 32	74.2 - 75.4	5.6 / 9	61.5 - 62.9	22.5 / 36	61.6 - 63.3	7.3 / 15	47.3 - 49.6	12.9 / 26	48.7 - 50.3
大阪府	23.4 / 32	72.5 - 73.7	5.3 / 9	58.4 - 59.7	21.7 / 36	59.4 - 61.0	6.9 / 15	45.0 - 46.9	12.4 / 26	47.1 - 48.5
兵庫県	24.3 / 32	75.5 - 76.5	5.6 / 9	61.6 - 62.8	23.0 / 36	63.0 - 64.5	7.5 / 15	48.8 - 50.6	13.5 / 26	51.3 - 52.5
奈良県	24.5 / 32	75.9 - 77.5	5.7 / 9	62.0 - 63.8	22.9 / 36	62.3 - 64.7	7.6 / 15	49.0 - 51.8	13.3 / 26	50.2 - 52.0
和歌山県	23.9 / 32	73.9 - 75.2	5.6 / 9	61.0 - 62.5	22.6 / 36	62.0 - 63.8	7.3 / 15	47.4 - 49.7	13.0 / 26	48.9 - 50.8
鳥取県	24.3 / 32	75.3 - 76.6	5.9 / 9	64.3 - 66.0	23.1 / 36	63.1 - 65.0	7.4 / 15	48.1 - 50.8	13.6 / 26	51.4 - 53.4
島根県	23.9 / 32	74.1 - 75.1	5.9 / 9	65.0 - 66.2	22.0 / 36	60.2 - 61.8	7.2 / 15	46.9 - 48.7	13.2 / 26	50.0 - 51.4
岡山県	23.7 / 32	73.4 - 74.8	5.5 / 9	60.7 - 62.4	22.1 / 36	60.2 - 62.5	7.1 / 15	46.1 - 49.0	13.3 / 26	50.1 - 52.3
広島県	24.1 / 32	74.8 - 75.9	5.7 / 9	62.9 - 64.3	22.5 / 36	61.5 - 63.3	7.5 / 15	48.7 - 50.9	13.0 / 26	49.5 - 50.9
山口県	24.1 / 32	74.7 - 75.8	5.8 / 9	63.4 - 64.8	22.9 / 36	62.8 - 64.4	7.6 / 15	49.8 - 51.9	13.7 / 26	51.9 - 53.3
徳島県	23.9 / 32	74.1 - 75.1	5.5 / 9	60.8 - 62.1	22.7 / 36	62.3 - 63.9	7.1 / 15	46.1 - 48.1	13.3 / 26	50.2 - 51.8
香川県	24.1 / 32	74.7 - 75.8	5.6 / 9	61.6 - 62.9	22.8 / 36	62.4 - 64.1	7.4 / 15	48.3 - 50.4	13.4 / 26	50.7 - 52.3
愛媛県	24.5 / 32	75.7 - 77.4	5.7 / 9	62.5 - 64.3	23.1 / 36	62.9 - 65.4	7.7 / 15	49.6 - 52.6	13.5 / 26	50.9 - 53.1
高知県	23.2 / 32	71.8 - 73.1	5.5 / 9	60.9 - 62.3	21.0 / 36	57.4 - 59.2	6.8 / 15	44.3 - 46.6	12.3 / 26	46.5 - 48.0
福岡県	23.7 / 32	73.5 - 74.7	5.6 / 9	61.7 - 63.1	21.4 / 36	58.6 - 60.3	7.1 / 15	46.0 - 48.2	12.9 / 26	48.9 - 50.4
佐賀県	23.6 / 32	73.1 - 74.3	5.7 / 9	62.3 - 63.7	22.0 / 36	60.3 - 62.2	7.1 / 15	46.2 - 48.6	12.8 / 26	48.3 - 50.0
長崎県	24.1 / 32	74.6 - 75.9	5.7 / 9	63.1 - 64.5	22.5 / 36	61.5 - 63.5	7.7 / 15	50.2 - 52.5	13.2 / 26	49.9 - 51.5
熊本県	24.0 / 32	74.4 - 75.7	5.8 / 9	63.7 - 65.1	22.3 / 36	61.0 - 62.9	7.5 / 15	49.0 - 51.1	13.7 / 26	51.9 - 53.6
大分県	23.7 / 32	73.7 - 74.7	5.7 / 9	63.0 - 64.1	22.2 / 36	60.9 - 62.2	7.2 / 15	47.1 - 48.8	13.4 / 26	50.9 - 52.1
宮崎県	23.9 / 32	74.2 - 75.5	5.9 / 9	64.4 - 65.6	23.2 / 36	63.7 - 65.4	7.5 / 15	48.9 - 51.0	13.7 / 26	51.9 - 53.6
鹿児島県	23.7 / 32	73.4 - 74.5	5.6 / 9	61.7 - 63.0	21.7 / 36	59.7 - 61.1	7.0 / 15	45.8 - 47.5	12.9 / 26	48.9 - 50.2
沖縄県	21.6 / 32	66.9 - 68.3	5.1 / 9	56.2 - 57.7	18.3 / 36	49.8 - 51.8	5.8 / 15	37.5 - 39.4	10.8 / 26	40.7 - 42.2

長野県と全国（公立）との正答数分布グラフの比較

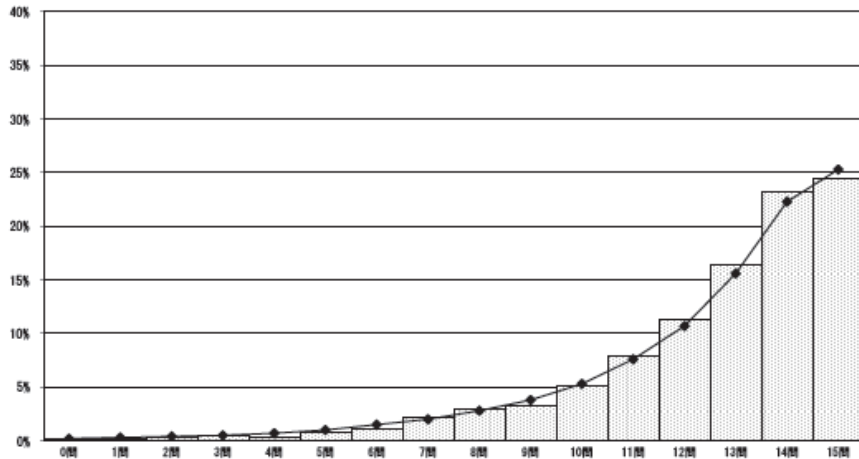
[正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）]

◇平成 24 年度と平成 22 年度との小学校国語A

【平成 24 年度】

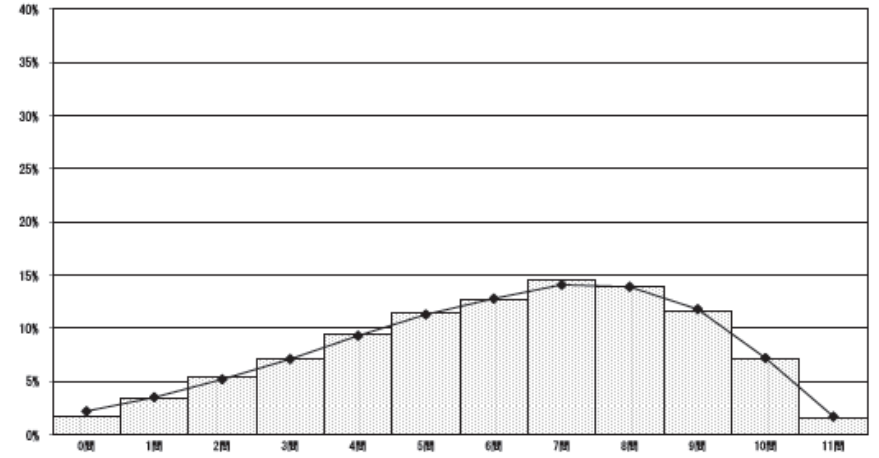


【平成 22 年度】

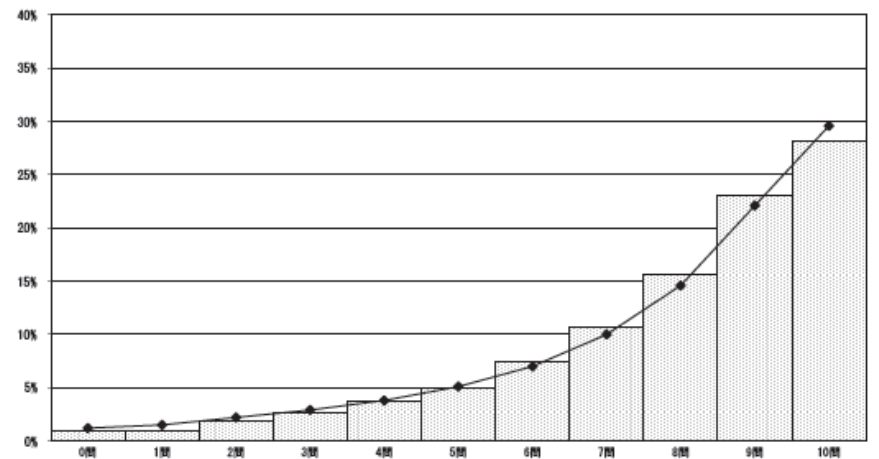


◇平成 24 年度と平成 22 年度との小学校国語B

【平成 24 年度】

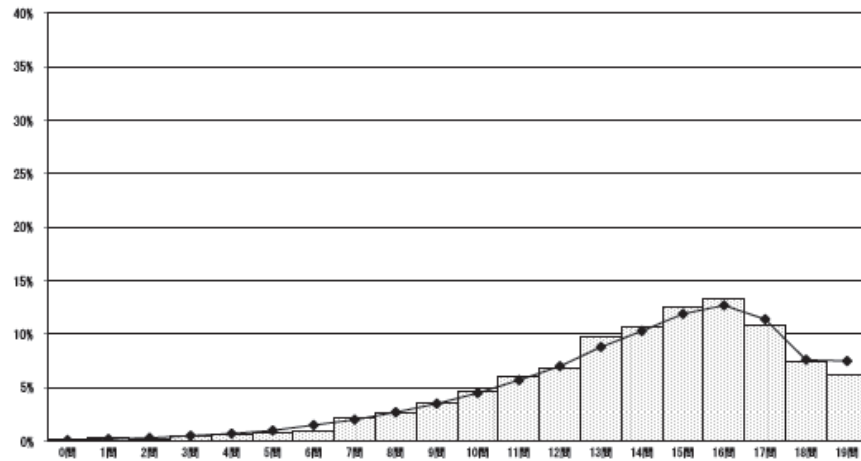


【平成 22 年度】

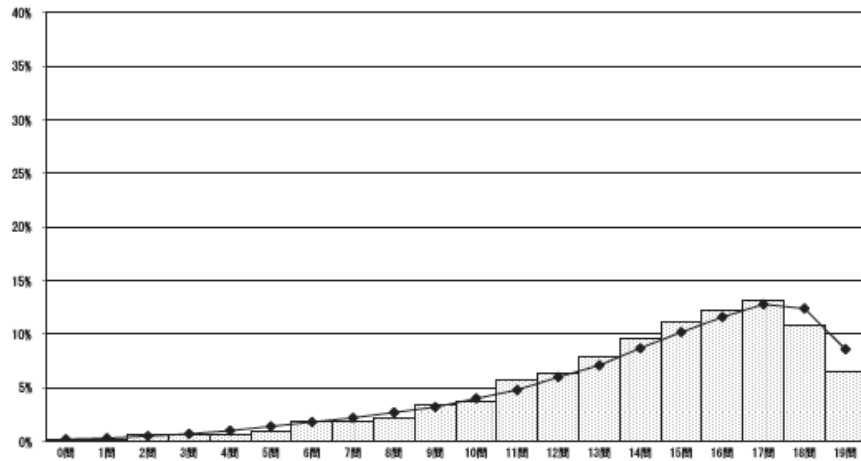


◇平成 24 年度と平成 22 年度との小学校算数A

【平成 24 年度】

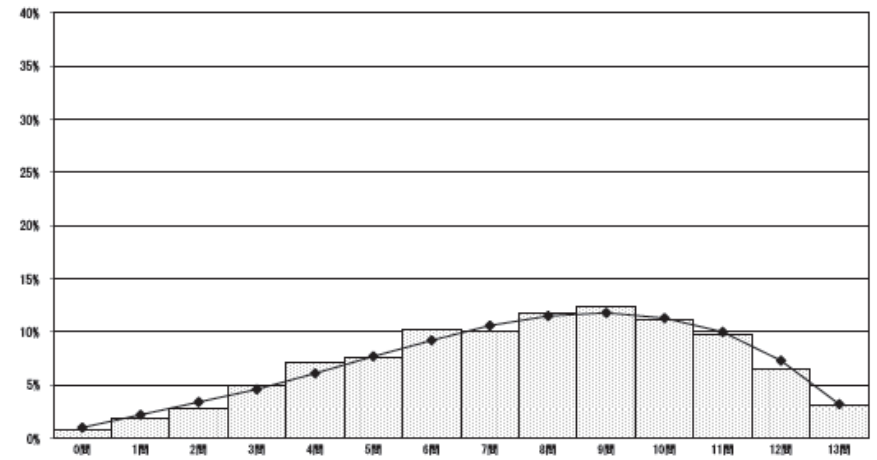


【平成 22 年度】

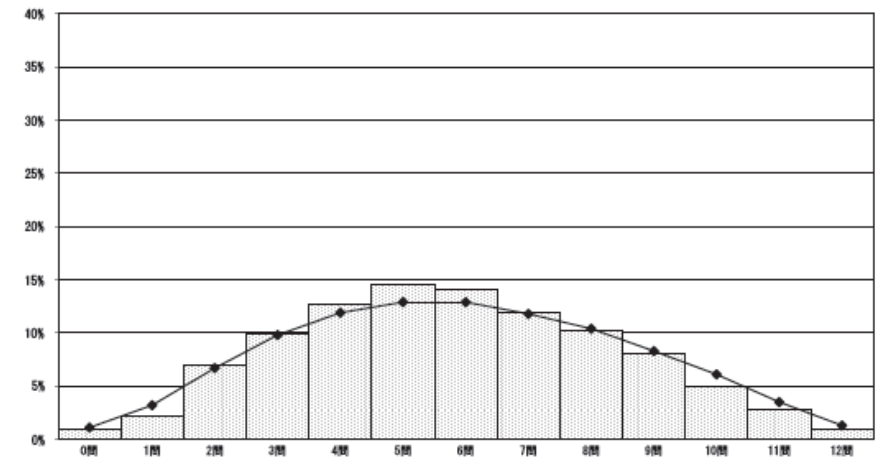


◇平成 24 年度と平成 22 年度との小学校算数B

【平成 24 年度】

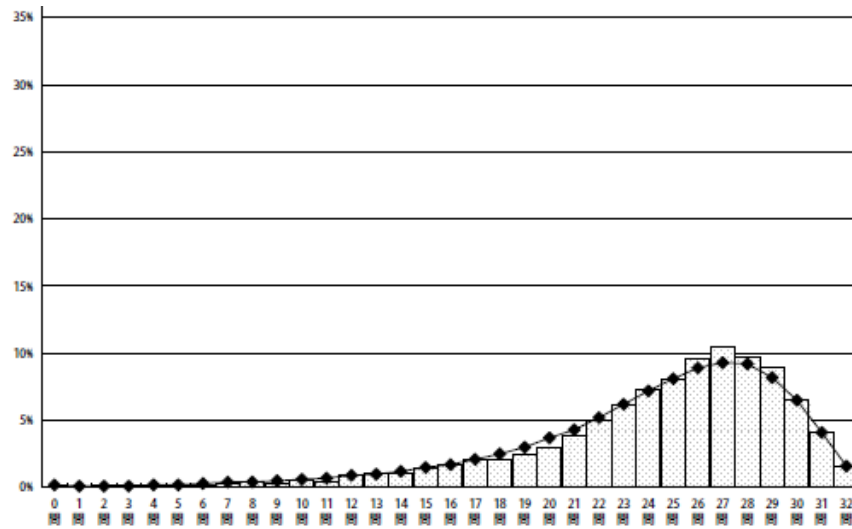


【平成 22 年度】

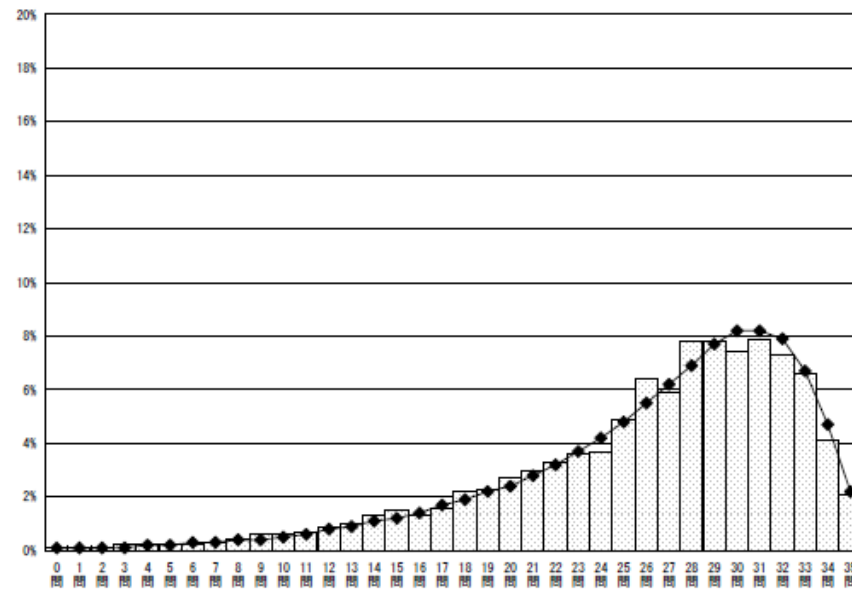


◇平成 24 年度と平成 22 年度との中学校国語A

【平成 24 年度】

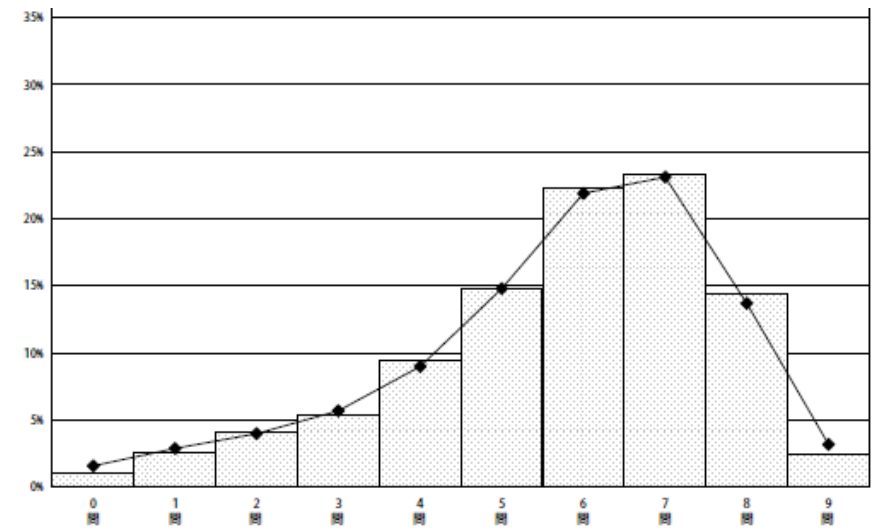


【平成 22 年度】

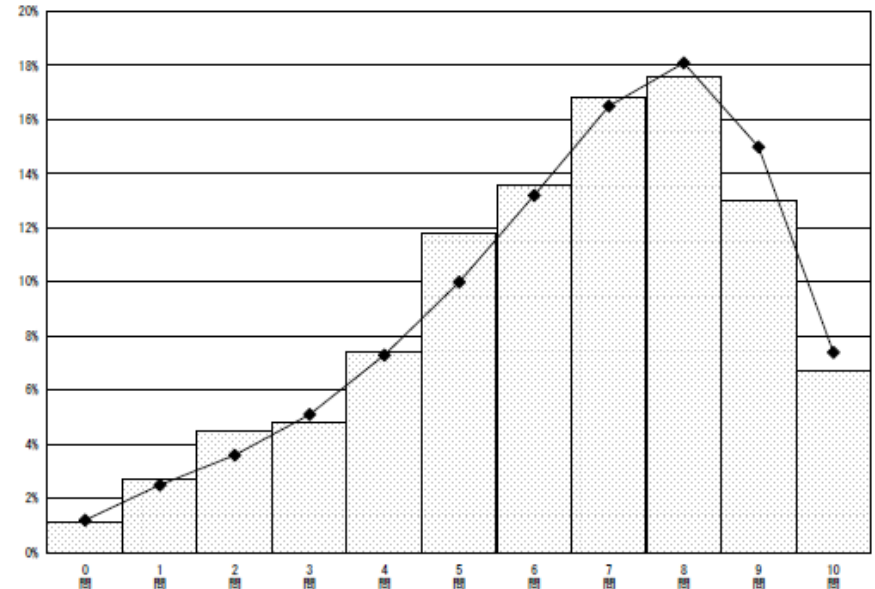


◇平成 24 年度と平成 22 年度との中学校国語B

【平成 24 年度】

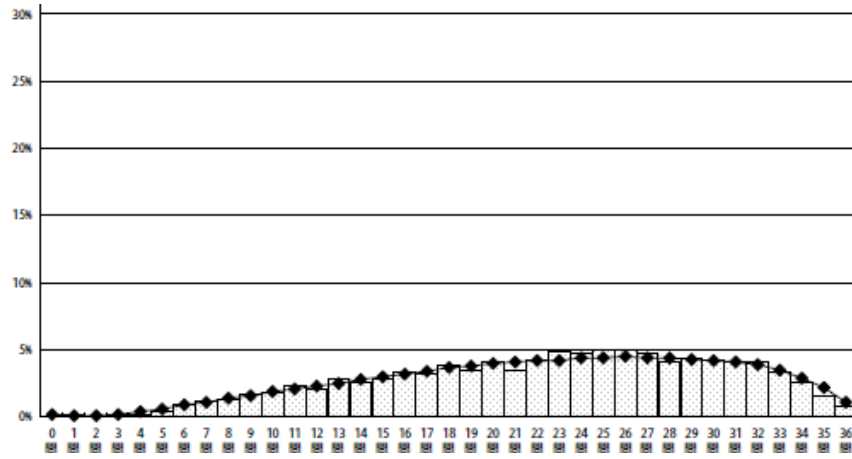


【平成 22 年度】

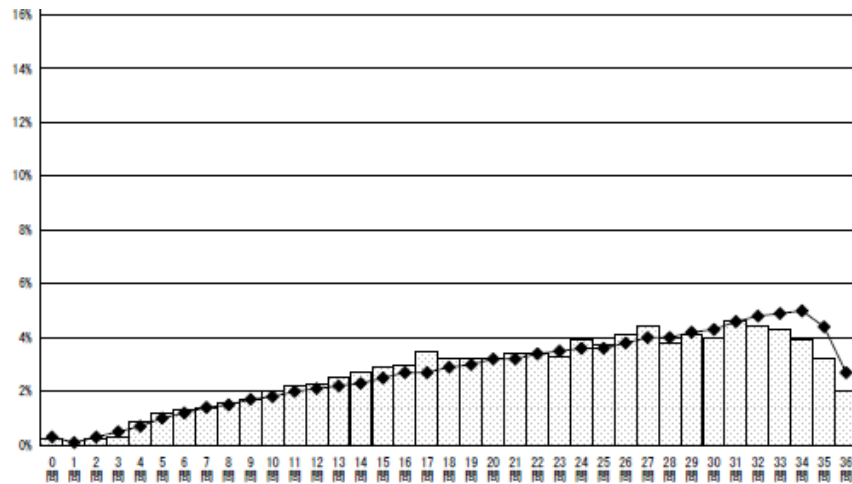


◇平成 24 年度と平成 22 年度との中学校数学A

【平成 24 年度】

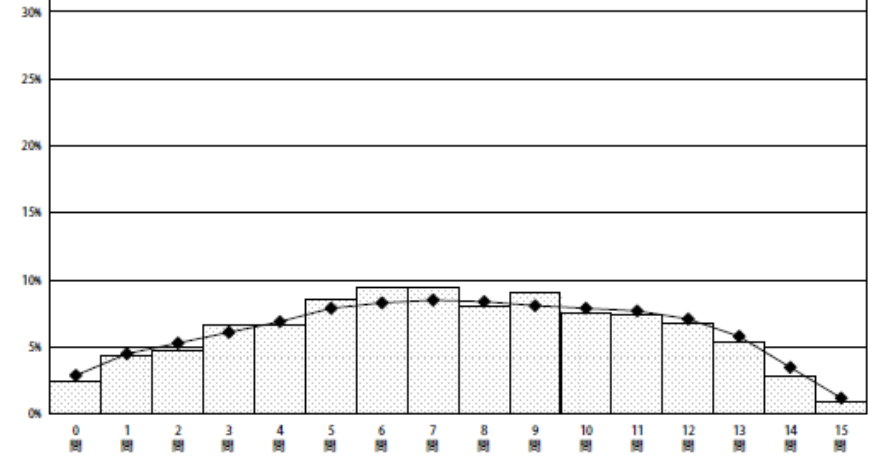


【平成 22 年度】

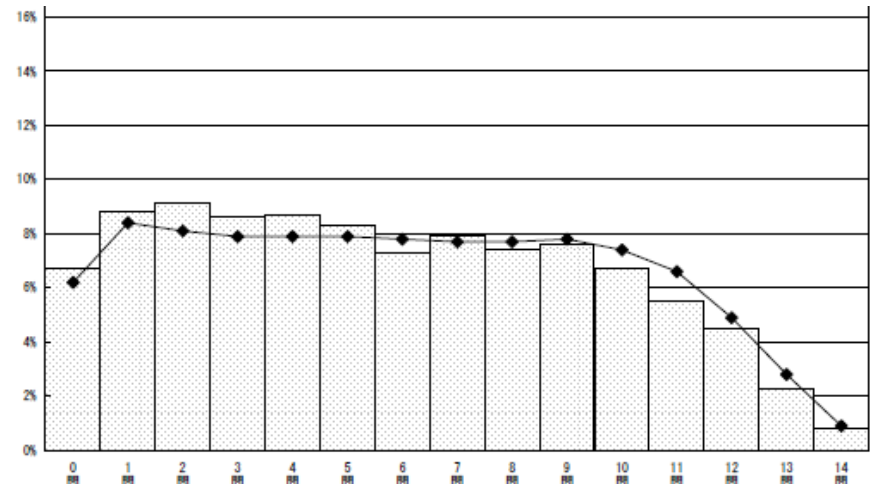


◇平成 24 年度と平成 22 年度との中学校数学B

【平成 24 年度】



【平成 22 年度】



設問別調査結果 [国語A：主として知識]
長野県一児童（公立）

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)
長野県（公立）	3,928	72	82.4	81.8 - 83.0
全国（公立）	255,180	5,139	81.6	81.4 - 81.7

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			長野県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	79.6	79.4
	書くこと	2	57.1	57.5
	読むこと	4	83.2	82.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	87.4	86.3
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	1	42.3	43.2
	話す・聞く能力	3	79.6	79.4
	書く能力	2	57.1	57.5
	読む能力	4	83.2	82.1
問題形式	言語についての知識・理解・技能	9	87.4	86.3
	選択式	4	73.0	72.5
	短答式	13	85.3	84.3
	記述式	0		

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			長野県（公立）		全国（公立）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1- (1)	漢字を読む (新しいビルを建築する)														92.4	0.8	89.3	1.3
1- (2)	漢字を読む (親から独立してくらす)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む													93.9	2.0	92.1	2.4
1- (3)	漢字を読む (参加することを許す)														94.6	1.6	95.2	1.3
1二 (1)	漢字を書く (病院でいしやにみてもらう)														82.9	3.6	83.1	4.2
1二 (2)	漢字を書く (東からたいようがのぼる)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く													79.8	1.6	82.8	1.6
1二 (3)	漢字を書く (白いぬのを青くそめる)														93.0	2.9	90.5	4.2
2	話し手の話の内容を聞きながら書いた質問について、その狙いを適切に説明したものを選択する	狙いを明確にして質問をする	○									○			64.2	0.1	65.2	0.6
3ア	収集した情報を関係付けながら話し合い、整理した図の中から適切な内容を取り出して書く	目的に応じ、収集した情報を関係付けながら話し合う	○										○		92.7	0.6	92.5	0.9
3イ	収集した情報を関係付けながら話し合い、整理した図の中から共通する内容を取り出して書く		○											○	81.9	0.7	80.4	1.1
4	四つの会話文の音読の仕方として適切なものをそれぞれ選択する	場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら音読する			○										74.8	0.4	73.3	0.6
5ア	百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を取り出して書く	百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を捉える			○										92.2	1.0	91.1	1.5
5イ					○										93.7	1.2	92.2	1.7
6	創作した物語の語り手が寄り添っている人物として適切なものを選択する	表現の効果について確かめながら物語を創作する		○	○										71.9	0.8	71.8	1.4
7	新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く	目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書く		○											42.3	5.3	43.2	7.5
8	日常生活で使われている慣用句を集め、それらの意味を適切に捉える	日常生活で使われている慣用句の意味を正しく理解する			○										81.0	5.4	79.7	6.6
9一	学年別漢字配当表に示されている漢字（申）の正しい筆順を適切に捉える	学年別漢字配当表に示されている漢字を筆順に従って正しく書く			○										85.3	5.7	82.7	6.7
9二	学年別漢字配当表に示されている漢字（赤）の正しい筆順を適切に捉える				○										84.0	6.1	81.4	7.0

設問別調査結果 [国語B：主として活用]
長野県－児童（公立）

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)
長野県（公立）	3,928	72	55.8	54.9 - 56.7
全国（公立）	255,139	5,140	55.6	55.4 - 55.8

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			長野県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	64.6	63.0
	書くこと	5	47.1	46.8
	読むこと	5	55.8	55.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	54.7	55.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	49.7	48.5
	話す・聞く能力	3	64.6	63.0
	書く能力	5	47.1	46.8
	読む能力	5	55.8	55.7
問題形式	言語についての知識・理解・技能	1	54.7	55.2
	選択式	7	60.4	60.1
	短答式	1	42.3	45.0
	記述式	3	49.7	48.5

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			長野県（公立）		全国（公立）	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1ー	目的や意図に応じ、依頼する具体的な内容として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、書く事柄を整理する	○				○				○			64.9	1.5	64.8	2.4
1二	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、返事の仕方と内容を記述する	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、内容の中心を明確にして書く	○		○		○		○			○		54.7	5.4	55.2	7.0
1三	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置を適切に選択する	手紙の構成を理解し、後付けを書く	○					○			○			21.5	1.4	23.5	2.1
2ー	参加者から出された質問の内容を適切に捉え、まとめごとに整理する	司会として収集した情報を捉え、まとめごとに整理する	○				○				○			84.2	2.0	84.3	2.5
2二	提示された資料を読み取った上で、相手に対して質問をしたい内容を明確にして発表するように記述する	資料を読み取った上で、質問をしたい内容を明確にして発表する	○	○			○	○	○			○		55.0	11.7	52.6	14.5
2三	話合いの目的を再確認し、計画的に話合いを進めようとする司会の役割を適切に説明したものを選択する	司会として話合いの目的を再確認し、計画的に話合いを進める	○				○				○			54.5	6.6	52.2	7.6
3ーア	雑誌の特徴の説明として適切なものを選択する	目的に応じ、雑誌や読んだ記事の特徴を捉える			○				○		○			88.1	1.9	87.3	2.6
3ーイ	記事の特徴の説明として適切なものを取り出して書く	編集者の意図を捉える			○				○			○		42.3	7.6	45.0	9.0
3二	編集者の意図を説明したものとして適切なものを選択する	編集者の意図を捉える			○				○		○			52.1	3.1	51.0	3.8
3三	目的に応じ、複数の記事を結び付けながら読もうとするとき、該当する記事の見出しとして適切なものを選択する	目的に応じ、記事を結び付けながら読む			○				○		○			57.1	3.5	57.6	4.2
3四	二つの記事に書かれている内容を結び付けながら読み、理由となる事実を基にして自分の考えを記述する	複数の記事を結び付けながら読み、事実を基にして自分の考えをもつ	○	○			○	○	○			○		39.3	14.6	37.7	17.0

設問別調査結果 [算数A：主として知識]
長野県一児童（公立）

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)
長野県（公立）	3,928	72	73.2	72.4 - 74.1
全国（公立）	255,186	5,139	73.3	73.1 - 73.5

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			長野県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	数と計算	10	74.8	75.0
	量と測定	4	70.1	71.7
	図形	3	72.0	72.6
	数量関係	3	77.3	74.4
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	0		
	数量や図形についての技能	8	86.1	84.9
	数量や図形についての知識・理解	11	63.9	64.9
問題形式	選択式	4	56.6	58.5
	短答式	15	77.7	77.2
	記述式	0		

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			長野県（公立）		全国（公立）	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1 (1)	132+459 を計算する	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	○					○		○			95.0	0.0	95.7	0.1
1 (2)	148÷37 を計算する	除法の計算をすることができる	○					○		○			94.5	1.5	94.3	1.5
1 (3)	4.6-0.21 を計算する	小数の減法の計算をすることができる	○					○		○			64.1	1.2	63.1	1.6
1 (4)	90×0.7 を計算する	小数の乗法の計算をすることができる	○					○		○			91.1	0.6	90.8	0.8
1 (5)	6×2+8×3 を計算する	加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる				○		○		○			87.0	0.3	80.0	0.5
1 (6)	3/7-2/5 を計算する	異分母の分数の減法の計算をすることができる	○					○		○			84.0	2.0	85.7	2.1
1 (7)	4/5÷8 を計算する	除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができる	○					○		○			84.6	2.7	82.4	4.2
2 (1)	47000は1000が何個集まった数かを書く	数の相対的な大きさについて理解している	○							○	○		86.4	0.4	88.8	0.5
2 (2)	596の1/100の大きさの数を小数で書く	十進位取り記数法の仕組みについて理解している	○							○	○		74.2	3.0	73.7	3.7
3 (1)	120cmの赤いテープの長さが白いテープの長さの0.6倍に当たるとき、二つのテープの長さの関係を表している図を選ぶ	場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解している	○							○	○		34.2	0.9	34.0	1.2
3 (2)	120cmの赤いテープの長さが白いテープの長さの0.6倍に当たるとき、白いテープの長さを求める式を書く	1に当たる大きさを求めるために、除法が用いられることを理解している	○							○	○		39.7	2.7	41.1	3.4
4	5日間で1日に平均何個のトマトがとれたことになるのかを書く	平均の意味を理解し、測定値の平均を求めることができる		○				○		○			88.2	0.8	86.9	1.1
5 (1)	示されたはがきの面積は約何cmかを選ぶ	面積についての感覚を身に付けている		○						○	○		55.6	0.8	60.6	1.2
5 (2)	三角形の底辺に対応する高さを選ぶ	三角形の底辺と高さの関係について理解している		○						○	○		52.3	0.7	54.6	1.2
6 (1)	三つの角の大きさが60°、80°、90°である四角形の、残りの角の大きさを書く	四角形の四つの角の大きさの和が360°であることを理解している			○					○	○		74.6	1.5	76.9	2.1
6 (2)	直方体において、与えられた面に垂直な辺を書く	立体図形の辺と面の垂直の関係を理解している			○					○	○		65.6	2.5	64.8	2.7
7	示された半円をかくために、コンパスの針を刺す場所と、コンパスの開いている長さを答える	円の中心と半径について理解している			○					○	○		75.7	0.9	76.1	1.6
8	犬を飼っている8人が学級全体の人数の25%に当たるとき、学級全体の人数を求める式と答えを書く	百分率の意味について理解している				○				○	○		60.4	8.2	58.3	10.0
9	直方体の底面の大きさを変えずに、高さを2倍、3倍、…にすると、体積はどのように変わるかを選ぶ	表を用いて、二つの数量の関係が、比例の関係にあることを理解している		○	○					○	○		84.6	2.6	84.8	3.4

設問別調査結果 [算数B：主として活用]
長野県一児童（公立）

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
長野県（公立）	3,928	72	58.6	57.6	59.6
全国（公立）	255,151	5,139	58.9	58.7	59.1

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			長野県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	数と計算	6	54.3	54.0
	量と測定	9	60.8	60.8
	図形	3	62.9	63.3
	数量関係	4	48.8	49.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	8	49.8	50.4
	数量や図形についての技能	3	77.2	77.6
	数量や図形についての知識・理解	2	65.8	65.2
問題形式	選択式	3	67.3	68.0
	短答式	5	77.0	77.1
	記述式	5	35.0	35.3

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			長野県（公立）		全国（公立）		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	代金320円に対して520円を支払ったとき、おつりとしてもらった2枚の硬貨の種類を書く	支払い方の工夫を解釈し、おつりの金額を硬貨の種類と枚数に対応させることができる	○				○				○			93.1	0.4	92.6	0.5
1(2)	代金630円に対して、1030円よりも1130円を支払ったときの方が、おつりの硬貨の枚数が少なくなるわけを書く	硬貨の種類と枚数を比較し、一方の支払いの方が、おつりの枚数が少なくなる理由を記述できる	○				○				○			42.3	5.5	42.5	5.6
2(1)	中型の跳び箱を8段にしたときの高さを求める式を選ぶ	跳び箱の図を観察し、指定された段の高さを求める式を読み取ることができる		○		○		○			○			87.6	0.9	87.1	1.0
2(2)	中型の跳び箱を70cmの高さにすることができるかどうかを判断し、そのわけを書く	必要な情報を用いて、指定された高さにすることができるかどうかを判断し、その理由を記述できる	○	○		○		○			○			28.9	1.1	26.8	1.3
2(3)	2種類の跳び箱を30cm高くすると同じ高さになるわけとして、正しい記述を選ぶ	示された複数の情報を関連付けて解釈し、算数の用語を的確に表現されているものを選択できる	○	○				○	○		○			56.6	1.4	56.2	2.2
3(1)	縦6cm、横10cmの長方形に内接するひし形の面積を求める式と答えを書く	面積が等しい直角三角形の数に着目し、長方形に内接するひし形の面積の求め方を理解できる		○	○			○			○			75.0	3.0	74.2	4.1
3(2)	面積が等しい直角三角形を基に、長方形に内接する四角形の面積と長方形の面積の関係を書く	面積が等しい直角三角形を基に筋道を立てて考え、面積の関係を記述できる		○	○			○			○			50.4	7.1	51.2	8.6
4(1)	午前11時30分までにご飯が出来上がるようにするために、所要時間40分間を基に、ころろに点火する時刻を求める	与えられた条件に合う時刻を求めることができる		○				○			○			80.9	1.5	81.3	1.7
4(2)	40分間以内でできることを判断するために、所要時間の範囲から適切な数値の組み合わせを書く	示された時間の範囲から、目的に応じて所要時間の見当を付けることができる	○	○				○			○			72.7	1.7	72.8	2.0
4(3)	はかりの目盛りと1人分の材料と分量を基に、班の人数分のご飯を作るために必要な水の重さの求め方と答えを書く	はかりを適切に読み取り、与えられた条件を基に筋道を立てて考え、重さの求め方を記述できる	○	○				○			○			32.2	10.1	32.8	10.9
5(1)	一輪車の高さを調節したときの、示された長さを求める	一輪車の図から円を見だし、円の性質を用いて、長さを求めることができる		○	○			○			○			63.2	5.7	64.4	5.7
5(2)	一輪車のタイヤの回転数と進んだ長さが比例の関係にあることを基に、トラック一周の長さを求める式を選ぶ	表から比例の関係を捉え、二つの数量の変化の仕方に対応する式を選択することができる				○		○			○			57.6	5.3	60.9	5.8
5(3)	示された表から、合計の人数を基にした乗れる人数の割合は、男子と女子ではどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く	表から適切な数値を取り出して割合の大小を判断し、その理由を記述できる				○		○			○			21.1	11.6	23.3	10.6

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)
長野県（公立）	3,933	72	61.1	60.3 - 62.0
全国（公立）	254,825	5,069	60.9	60.8 - 61.1

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			長野県（公立）	全国（公立）
問題	主として「知識」に関する問題	7	69.2	69.1
	主として「活用」に関する問題	17	57.8	57.6
学習指導要領の領域	物質	7	61.1	61.4
	エネルギー	5	60.6	59.8
	生命	7	68.9	68.6
	地球	5	50.8	50.6
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0		
	科学的な思考・表現	17	57.8	57.6
	観察・実験の技能	2	45.7	46.2
	自然事象についての知識・理解	5	78.6	78.2
問題形式	選択式	15	65.0	65.0
	短答式	6	64.4	63.9
	記述式	3	35.3	34.5

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式		長野県（公立）		全国（公立）		
					物質	エネルギー	生命	地球	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1(1)	氷砂糖を細かく割ったときの全体の重さについて、当てはまるものを選ぶ	物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している	○	○						○	○				84.7	0.2	85.8	0.3
1(2)	氷砂糖を水に溶かしたときの全体の重さについて、当てはまるものを選ぶ	物は、水に溶けても重さは変わらないことを氷砂糖に適用できる	○	○				○			○				74.1	0.3	76.3	0.4
1(3)	砂糖水に溶けている氷砂糖の様子について、実験結果から適切な図を選び、選んだわけを書く	水に溶けている物の様子について、実験結果を基に自分の考えを改善して、その理由を記述できる	○	○				○				○			56.2	0.6	54.4	0.9
1(4)	梅ジュースに溶けている砂糖の濃さについて、適切に説明しているものを選ぶ	物は、水に溶けると液全体に広がることを、梅ジュースに適用できる	○	○				○			○				69.0	0.3	65.6	0.6
2(1)	虫眼鏡の適切な操作方法を選ぶ	虫眼鏡の適切な操作方法を身に付けている	○					○			○				65.8	0.2	65.0	0.5
2(2)ア	4月25日のサクラの様子について、データを基に、それぞれ当てはまるものを選ぶ	学習した植物の成長の規則性を、他の対象であるサクラに適用できる	○					○			○				70.8	0.5	73.0	0.8
2(2)イ			○					○			○				88.7	0.5	88.4	0.8
2(3)太郎	サクラが開花する地域について、データを基に、それぞれ当てはまるものを選ぶ	気温が異なる地域のサクラの開花時期を、データを基に分析できる	○					○			○				76.4	1.3	75.5	1.7
2(3)花子			○					○			○				70.4	1.3	68.9	1.6
2(4)	「おしべの花粉がめしべの先につく」ことを表す言葉を書く	植物の受粉と結実の関係について、科学的な言葉や概念を理解している	○					○			○	○			78.9	7.8	77.2	10.2
2(5)	スイカの受粉と結実の関係を調べる実験について、適切な実験方法を選び、選んだわけを書く	植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その理由を記述できる	○	○				○				○			31.2	4.0	32.1	4.6
3(1)ア	車を動かす力を強くするための工夫について、光電池の特性や乾電池のつなぎ方から当てはまる言葉を書く	光電池や乾電池の働きを強くするための要因を理解している	○							○	○				75.6	3.2	76.5	4.3
3(1)イ			○						○	○					64.9	3.7	61.7	5.4
3(2)	ゴムをねじる回数と車の進む距離の関係を示すグラフから、ゴムをねじる回数を選ぶ	ゴムをねじる回数についてグラフから分析して、予測することができる	○					○			○				58.7	0.7	57.4	1.0
3(3)	車の進行方向と電流の向きとを関係付けて考え、並列つなぎの適切なつなぎ方を選ぶ	並列つなぎについて、乾電池の向きと車の進行方向とを関係付けて、分析できる	○					○			○				51.7	1.1	52.7	1.3
3(4)	電磁石の強さを変えるための実験条件を書く	電磁石の強さを変える要因について確かめる実験を、条件を制御しながら構想できる	○					○				○			52.0	5.7	50.6	7.2
3(5)オ	水の状態変化の説明として、当てはまる言葉を選ぶ	水は、温度によって状態が変化する性質を、物を動かす「エネルギーの見方」として適用できる	○	○				○			○				61.2	2.2	62.1	2.4
3(5)カ			○	○				○			○				41.0	2.6	42.4	2.8
3(5)キ			○	○					○			○				41.6	3.2	43.5
4(1)	方位磁針の適切な操作方法を選び、その時の太陽の方位を書く	方位磁針の適切な操作方法を身に付けている	○					○			○				25.7	3.2	27.3	3.2
4(2)	方位磁針の名称を書く	方位磁針の名称を理解している	○					○			○				89.1	5.6	89.8	5.7
4(3)	「かげの観察記録」を基に、木の影の長さの変化を表したグラフを選ぶ	「かげの観察記録」を基に、木の影の長さの変化を表すグラフを分析できる	○					○			○				56.1	3.4	54.6	3.9
4(4)	木の影がなかった時間の空の様子を選ぶ	日陰の様子と雲の様子とを関係付けて、木の影がなかった時間の空の様子を分析できる	○					○			○				64.5	4.0	64.6	4.1
4(5)	天気の様子と気温の変化とを関係付けて、気温の変化を表したグラフを選び、選んだわけを書く	天気の様子と気温の変化の関係についてデータを基に分析して、その理由を記述できる	○					○				○			18.5	6.1	16.9	6.7

設問別調査結果 [国語A：主として知識]
長野県一生徒（公立）

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
長野県（公立）	4,519	44	76.3	75.6	77.0
全国（公立）	424,157	4,294	75.1	75.0	75.2

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			長野県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	2	88.4	87.7
	書くこと	4	89.1	88.1
	読むこと	5	64.0	65.4
	言語事項	21	75.7	73.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0		
	話す・聞く能力	2	88.4	87.7
	書く能力	4	89.1	88.1
	読む能力	5	64.0	65.4
問題形式	言語についての知識・理解・技能	21	75.7	73.7
	選択式	16	77.1	76.1
	短答式	16	75.6	74.1
	記述式	0		

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			長野県（公立）		全国（公立）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1一	指示棒が指す箇所として適切なものを選択する	自分の話を聞き手に理解してもらえるように、資料を用いて話す	○							○					86.8	0.0	85.4	0.3
1二	話題が変わる箇所として適切なものを選択する	間の取り方に注意して話す				○						○			84.6	0.2	85.0	0.4
2一	手紙の前文の最初に書かれる言葉の名称として適切なものを選択する	手紙の形式を理解して書く		○							○				91.8	0.2	89.2	0.4
2二	時候の挨拶に書き足した文の説明として適切なものを選択する	相手に応じて文章を書き直す		○							○				86.2	0.2	84.9	0.5
3一	「よく熟した夏ミカン」に対応する東京の情景を本文中から抜き出す	比喩を手掛かりにしながら文脈をたどり、内容を理解する			○							○			86.4	2.0	85.9	2.3
3二	「この村の月は、まるでよく熟した夏ミカンだ」に使われている表現の技法の名称を書く	比喩という言葉と結び付けて、表現の仕方を理解する			○							○			34.3	25.5	40.4	18.3
4一	「難易度が高くなるので」を聞き手に分かりやすい表現に直す	聞き手や場面を意識して、適切な語句を選択して話す	○							○					89.9	1.9	90.1	2.0
4二	「生徒会活動（小学校……児童会活動）」を場に応じた話し言葉にする	話し言葉と書き言葉との違いを理解し、適切に使う				○						○			53.3	6.9	47.1	7.7
5一	文章の特徴として適切なものを選択する	伝えたい事柄を明確にして書く		○							○				90.7	0.2	90.6	0.6
5二	文鎮について説明する一文を書き加える	必要な情報が相手に伝わるように説明する		○								○			87.6	3.7	87.8	3.6
6一	「このような現象」が何と呼ばれているかを本文中から抜き出す	文章の展開に即して内容を捉える			○							○			68.0	2.9	68.1	3.1
6二	取扱い絵表示の内容に加えて気を付けなければならないこととして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る			○							○			39.0	0.4	40.3	0.6

設問別調査結果 [国語A：主として知識]
長野県一生徒（公立）

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
長野県（公立）	4,519	44	76.3	75.6	77.0
全国（公立）	424,157	4,294	75.1	75.0	75.2

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			長野県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	2	88.4	87.7
	書くこと	4	89.1	88.1
	読むこと	5	64.0	65.4
	言語事項	21	75.7	73.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0		
	話す・聞く能力	2	88.4	87.7
	書く能力	4	89.1	88.1
	読む能力	5	64.0	65.4
問題形式	言語についての知識・理解・技能	21	75.7	73.7
	選択式	16	77.1	76.1
	短答式	16	75.6	74.1
	記述式	0		

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			長野県(公立)		全国(公立)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
7-1	漢字を書く(地域の人をショウタイする)	文脈に即して漢字を正しく書く				○					○	○			57.7	12.2	51.5	14.7
7-2	漢字を書く(メートルは長さのタンイである)		○								○	○			86.7	6.6	86.1	7.4
7-3	漢字を書く(鉛筆をカリる)		○								○	○			73.4	4.2	69.3	5.7
7-1	漢字を読む(考えに相違がある)	文脈に即して漢字を正しく読む				○					○	○			62.7	13.6	64.5	12.5
7-2	漢字を読む(不純物が沈殿する)		○								○	○			86.8	6.2	84.6	6.0
7-3	漢字を読む(会議で決を揺る)		○								○	○			80.2	3.9	73.8	4.8
7-3ア	適切な語句を選択する(このカーテンの色は、部屋の雰囲気とよく調和している)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				○					○	○			85.1	0.5	82.6	0.7
7-3イ	適切な敬語を選択する(先生が、私の家にいらっしゃる)		○								○	○			89.3	0.4	89.0	0.6
7-3ウ	適切な語句を選択する(弟子を手塩にかけて育てる)		○								○	○			65.1	0.9	60.6	1.1
7-3エ	適切な語句を選択する(たなびく雲の間から、春の光がもれている)		○								○	○			54.8	0.6	46.9	0.8
7-3オ	適切な語句を選択する(いかなる困難にもひるむことなく仕事を進めた)		○								○	○			94.2	0.5	93.5	0.7
7-4ア	適切な対義語を選択する(受信)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				○					○	○			85.0	0.5	87.5	0.7
7-4イ	適切な対義語を選択する(理想)		○								○	○			68.9	0.7	66.3	0.8
7-5	はがきの表書きを書く	はがきの書き方を理解して書く				○					○	○			76.6	2.2	73.7	2.7
7-6-1	ローマ字で書く(たけくらべ)	ひらがなで表記された作品名をローマ字で書く				○*					○	○			88.8	2.2	88.8	2.3
7-6-2	ローマ字を読む(Tosa nikki)	ローマ字で表記された作品名を読み、ひらがなと漢字で正しく書く				○					○	○			84.4	4.3	81.9	4.2
7-7-1	「諸行むじやう」を漢字で書いたものとして適切なものを選択する	抽象的な概念を表す語句について理解する				○					○	○			58.4	1.0	67.0	1.1
7-7-2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(あらはす)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む			○						○	○			92.3	3.8	92.6	3.5
7-8-1	漢字の音読みと訓読みの説明として適切なものを選択する	漢字の音読みと訓読みについて理解する				○					○	○			76.7	1.1	72.0	1.3
7-8-2	漢和辞典の「意味」の中から、「観光」の「光」の意味として適切なものを選択する	辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える				○					○	○			76.3	1.3	76.6	1.6

※ 小学校学習指導要領による。

設問別調査結果 [国語B：主として活用]
長野県一生徒（公立）

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
長野県（公立）	4,520	44	63.8	62.6	65.0
全国（公立）	424,258	4,294	63.3	63.2	63.4

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			長野県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	60.3	59.9
	書くこと	4	57.9	57.4
	読むこと	5	61.7	61.5
	言語事項	0		
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	49.0	49.0
	話す・聞く能力	3	60.3	59.9
	書く能力	4	57.9	57.4
	読む能力	5	61.7	61.5
問題形式	言語についての知識・理解・技能	0		
	選択式	5	68.5	67.7
	短答式	1	84.6	84.3
	記述式	3	49.0	49.0

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			長野県（公立）		全国（公立）	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1一	対談での発言の役割について説明したのとして適切なものを選択する	相手の話を踏まえて話す	○				○				○			79.4	0.2	79.2	0.4
1二	対談の展開を整理したのとして適切なものを選択する	話の展開に注意して聞く	○				○				○			81.4	0.2	80.8	0.4
1三	これからどのような言葉の使い方をしたいのかを具体的な言葉の例を挙げて書く	相手の発言を注意して聞き、自分の考えを書く	○	○			○	○	○			○		20.0	14.8	19.7	13.9
2一	「被写体」を言い換えている言葉を本文中から抜き出す	文脈の中における語句の意味を捉える			○						○			84.6	4.6	84.3	4.9
2二	祖母向けの説明書の工夫として適切なものを選択する	効果的に伝わるように、内容や表現の仕方を工夫して書く		○							○			84.5	0.2	82.5	0.5
2三	祖母向けの説明書の一部を書く	資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書く		○	○		○		○			○		68.8	8.7	68.4	8.1
3一	物語について説明したのとして適切なものを選択する	物語の展開や表現の特徴を捉える			○						○			61.4	0.5	61.6	0.8
3二	物語に描かれている季節を選択する	物語の場面の展開を捉える			○						○			35.5	0.4	34.2	0.7
3三	朗読の仕方の工夫とその理由を書く	物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、自分の考えを書く		○	○		○		○			○		58.4	14.7	58.9	13.6

設問別調査結果 [数学A：主として知識]
長野県一生徒（公立）

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
長野県（公立）	4,527	44	62.3	61.2	63.5
全国（公立）	424,379	4,290	62.1	62.0	62.3

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			長野県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	数と式	12	67.1	67.5
	図形	12	67.0	66.7
	数量関係	12	53.0	52.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	0		
	数学的な表現・処理	13	70.1	69.8
	数量、図形などについての知識・理解	23	58.0	57.8
問題形式	選択式	21	59.6	59.7
	短答式	15	66.2	65.5
	記述式	0		

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点				問題形式			長野県（公立）		全国（公立）		
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	8と12の最小公倍数を求める	2つの自然数の最小公倍数を求めることができる	○ ^{※1}				○				○			66.7	2.5	67.7	2.6
1(2)	6-(-7)を計算する	正の数と負の数の減法の計算ができる	○				○				○			91.3	0.5	88.5	1.1
1(3)	数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る	数直線上に示された負の整数を読み取ることができる	○				○				○			64.5	0.6	66.4	1.2
1(4)	天気予報の情報から、ある市の最高気温と最低気温の差を求める	正の数と負の数を用いて日常的な事象を処理することができる	○				○				○			76.3	1.3	73.5	1.8
2(1)	(7x+5y)-(5x+2y)を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	○				○				○			75.2	1.6	77.6	1.8
2(2)	x=3のときの式 -x ² の値を求める	指数を含む文字式で文字に数を代入して式の値を求めることができる	○				○				○			62.8	6.2	66.3	6.0
2(3)	整数aを用いて、式2aで表すことのできる数を選ぶ	文字の値が整数のときに、式の値について考察することができる	○					○			○			36.7	4.9	36.6	4.8
2(4)	「1個a円の品物を2個買った代金は1000円より安い。」という数量の関係を表した式として正しいものを選ぶ	数量の大小関係を不等式に表すことができる	○				○				○			65.0	0.2	65.2	0.5
3(1)	比例式6:8=x:12を解く	簡単な比例式を解くことができる	○				○				○			63.5	5.9	61.8	5.8
3(2)	連立方程式 $\begin{cases} a+b=8 \\ 2a+b=11 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	○				○				○			80.8	6.2	80.5	6.4
3(3)	一次方程式を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	方程式を解く際に用いられている等式の性質を理解している	○					○		○				77.9	0.6	78.5	0.6
3(4)	方程式の解が問題の答えとして適切なものであるかどうかを調べることについて、正しい記述を選ぶ	方程式を活用して、問題を解決する手順を理解している	○					○		○				44.3	1.3	47.8	1.2
4(1)	与えられた方法で作図された直線がもつ性質として、正しい記述を選ぶ	角の二等分線の作図の方法について理解している		○				○		○				56.5	0.7	56.3	0.9
4(2)	三角形を、直線を軸として対称移動した図形をかく	対称移動した図形をかくことができる		○				○			○			81.2	2.9	81.3	2.7
4(3)	中心角120°の扇形の面積について正しいものを選ぶ	扇形の面積がその中心角の大きさに比例することを理解している		○				○		○				70.4	1.0	69.0	0.9
5(1)	直方体の辺と面上の線分との位置関係について、正しい記述を選ぶ	直方体における辺と面に含まれる直線との位置関係を理解している		○				○		○				60.6	0.5	60.9	0.6
5(2)	1回転させると円柱ができる平面図形として正しいものを選ぶ	回転体がどのように構成されるかを理解している		○				○		○				89.4	0.3	86.9	0.5
5(3)	三角柱の展開図として正しいものを選ぶ	三角柱の展開図について理解している		○				○		○				92.8	0.3	92.8	0.5
5(4)	正四角錐の体積を求める式として正しいものを選ぶ	正四角錐の体積の求め方を理解している		○				○		○				62.2	0.5	60.8	0.7

設問別調査結果 [数学A：主として知識]
長野県一生徒（公立）

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
長野県（公立）	4,527	44	62.3	61.2	63.5
全国（公立）	424,379	4,290	62.1	62.0	62.3

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			長野県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	数と式	12	67.1	67.5
	図形	12	67.0	66.7
	数量関係	12	53.0	52.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	0		
	数学的な表現・処理	13	70.1	69.8
	数量、図形などについての知識・理解	23	58.0	57.8
問題形式	選択式	21	59.6	59.7
	短答式	15	66.2	65.5
	記述式	0		

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点				問題形式			長野県（公立）		全国（公立）	
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
6(1)	三角定規による平行線の作図について、正しい記述を選ぶ	同位角が等しければ2直線は平行であることを理解している		○				○	○				43.5	0.9	43.6	1.0
6(2)	n角形の内角の和を求める式で、(n-2)が表すものを選ぶ	n角形の内角の和を求める公式の意味を理解している		○				○	○				46.8	0.8	45.7	0.8
6(3)	与えられた三角形と合同な三角形を選ぶ	三角形の合同条件を理解している		○				○	○				64.4	0.5	66.8	0.7
7	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	具体的な命題について、仮定と結論を区別して、もとの命題の逆をつくることができる		○			○			○			73.1	6.9	72.4	7.0
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	証明の意義について理解している		○				○	○				63.0	1.0	64.4	1.0
9(1)	yがxに比例し、比例定数が3のとき、x、yの値について、正しい記述を選ぶ	比例定数の意味を理解している			○			○	○				52.7	1.8	51.8	1.4
9(2)	y=2x上の点を選ぶ	比例のグラフ上にある点のx座標とy座標の値の組が、その式を満たしていることを理解している			○			○	○				49.8	1.2	49.8	1.1
10(1)	反比例の表を完成する	反比例の関係を表す表から、表中の値を求めることができる			○		○			○			51.1	3.4	48.8	3.4
10(2)	反比例のグラフを選ぶ	反比例の関係を表すグラフの特徴を理解している			○			○	○				53.6	1.4	52.2	1.4
11(1)	(-1, -4)の位置を座標平面上に示す	座標平面上に点の位置を示すことができる			○			○		○			62.0	3.8	61.0	4.0
11(2)	一次関数のグラフから式を選ぶ	与えられたグラフから、傾きと切片の値を読み取り、一次関数y=ax+bの式を指摘できる			○			○	○				72.1	0.9	72.0	1.1
12	一次関数を表した事象を選ぶ	2つの数量の関係が一次関数になることを理解している			○			○	○				39.9	1.8	37.9	1.8
13	二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ	二元一次方程式の解とグラフの関係を理解している			○			○	○				36.6	2.4	38.8	2.2
14(1)	1枚の硬貨を投げたときの確率について、正しい記述を選ぶ	前の試行が次の試行に影響しない場面において、「同様に確からしい」ことの意味を理解している			○			○	○				59.8	1.4	64.6	1.6
14(2)	数字の書かれた3枚のカードから2枚のカードをひくとき、両方も奇数のカードである確率を求める	簡単な場合について確率を求めることができる			○		○			○			59.5	7.7	57.4	6.9
15(1)	度数分布表について、正しい記述を選ぶ	相対度数の必要性和意味を理解している			○ ^{※2}			○	○				50.4	2.8	48.7	2.6
15(2)	フリースローでボールの入った回数と人数の関係をまとめた図から、ボールの入った回数の最頻値を求める	資料を整理した図から最頻値を読み取ることができる			○ ^{※2}			○		○			47.8	16.3	42.4	16.9

※1 小学校学習指導要領による。

※2 中学校学習指導要領（平成20年告示）においては、「資料の活用」の領域の内容となる。

設問別調査結果 [数学B：主として活用]
長野県一生徒（公立）

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値（推計値を含む）である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
長野県（公立）	4,521	44	48.8	47.1	50.4
全国（公立）	424,373	4,291	49.3	49.2	49.5

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			長野県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	数と式	4	38.7	40.9
	図形	7	59.6	59.7
	数量関係	4	39.9	39.8
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	12	40.7	41.8
	数学的な表現・処理	2	76.9	75.0
	数量、図形などについての知識・理解	1	89.9	89.0
問題形式	選択式	3	57.4	58.4
	短答式	5	66.0	65.4
	記述式	7	32.8	34.0

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点				問題形式			長野県（公立）		全国（公立）			
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
1(1)	ISSの高度を1cmとしたときの、ひまわり7号の高度を選ぶ	表から必要な情報を適切に選択し、処理することができる	○			○						○			60.7	0.5	61.8	0.6
1(2)	2つの人工衛星の軌道の長さの差を求める計算から分かることを選び、その理由を説明する	軌道の長さの差を求める計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することができる	○			○							○		8.3	4.1	9.9	4.7
2(1)	連続する3つの自然数の和が3の倍数になることを説明する	事柄が成り立つ理由を示された方針に基づいて説明することができる	○			○								○	31.8	28.1	36.3	24.1
2(2)	連続する3つの偶数の和について成り立つ事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	○			○								○	54.1	26.3	55.3	24.9
3(1)	原田選手と船木選手の飛んだ回数を求める	総度数の意味に基づいてヒストグラムから必要な情報を適切に選択することができる			○ ^{※1}		○							○	75.7	4.6	72.8	5.2
3(2)	次の1回でより遠くへ飛びそうな選手を選び、その理由を説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			○ ^{※1}		○								46.9	3.9	46.1	4.9
4(1)	線対称な図形を対称の軸で折り返したとき、対応する点を答える	作図の手順を理解し、作図によってできる図形の特徴を的確に捉えることができる		○				○						○	89.9	4.6	89.0	5.3
4(2)	2つの直線が垂直に交わることを、三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え、証明することができる		○			○							○	45.5	23.6	45.1	22.4
4(3)	異なる場合での垂線の作図で、共通して利用されている図形の性質を選ぶ	複数の作図を統合的に捉え、作図された図形に共通する性質を見いだすことができる		○			○							○	55.5	1.8	56.5	1.5
5(1)	CDが1.2m、DBが8.3mのときの、木の高さABを求める	「木の高さの求め方」から必要な情報を適切に選択し、処理することができる		○			○							○	71.7	11.8	70.4	11.5
5(2)	長さを置き換えてよい根拠となる、長方形の性質を選ぶ	「木の高さの求め方」を事象に即して解釈することができる		○			○							○	56.1	2.0	56.8	2.1
5(3)	AEの長さを求められるようにするための方法を説明する	問題解決の方法を数学的に説明することができる		○			○							○	20.4	45.7	22.5	43.5
6(1)	正十二角形の1つの外角の大きさを求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる		○			○							○	78.1	6.2	77.2	6.2
6(2)	正多角形の頂点の数と正多角形の1つの外角の大きさの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	図形の性質を数量の関係に着目して捉え直し、その特徴を捉え、数学的に表現することができる			○ ^{※2}		○							○	14.6	33.5	17.4	31.0
6(3)	正多角形の頂点の数と正多角形の1つの外角の大きさの関係がどのような関数であるかを選び、その理由を説明する	問題解決を振り返って、数量の関係を数学的に解釈し、関係が成り立つ理由を説明することができる			○		○							○	22.4	7.7	22.9	8.3

※1 中学校学習指導要領（平成20年告示）においては、「資料の活用」の領域の内容となる。

※2 中学校学習指導要領（平成20年告示）においては、「関数」の領域の内容となる。

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値(推計値を含む)である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
				長野県(公立)	全国(公立)
長野県(公立)	4,517	44	51.0	49.7	52.2
全国(公立)	424,320	4,294	51.0	50.9	51.1

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			長野県(公立)	全国(公立)
問題	主として「知識」に関する問題	10	56.1	56.1
	主として「活用」に関する問題	16	47.7	47.8
学習指導要領の領域	物理的領域	8	46.6	45.9
	化学的領域	6	57.4	56.9
	生物的領域	6	49.3	50.7
	地学的領域	6	52.0	52.0
評価の観点	自然事象についての関心・意欲・態度	0		
	科学的な思考・表現	16	47.7	47.8
	観察・実験の技能	4	64.6	63.6
	自然事象についての知識・理解	6	50.5	51.1
問題形式	選択式	12	60.4	60.3
	短答式	9	49.3	49.0
	記述式	5	31.2	32.1

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			長野県(公立)		全国(公立)				
					物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域	自然事象についての関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1(1)	水草の働きと発生する気体の名称を答える	魚類の呼吸と水草の光合成を理解している	○				○					○			51.3	10.6	54.9	10.4
1(2)	両生類であるカエルの特徴や成長に応じて飼育の環境を整えた理由を説明する	動物を飼育する場面で、両生類の子と親の体のつくりと働きや生活場所に関する知識を活用して、飼育の環境を整えた理由を説明することができる		○					○				○		33.4	11.8	37.4	11.6
1(3)	成長して種子になる部分の名称を選ぶ	「胚珠は、めしべの子房の中にある、成長すると種子になる」という知識を身に付けている	○									○	○		71.4	0.2	70.9	0.4
1(4)	示された花の模式図にならって、アブラナの花のつくりを表した模式図を選ぶ	花のつくりを考える場面で、花のつくりの共通点や規則性に関する知識を活用して、アブラナの花のつくりを表している模式図を指摘することができる		○						○					66.4	0.2	66.0	0.5
1(5)	「チューリップの花が開くには、温度が関係している」という考察の根拠となる実験結果の組合せを選ぶ	「花が開くには温度が関係している」という考察を導くために、実験結果を分析し解釈して、比較する実験結果の組合せを指摘することができる		○						○					40.5	0.3	41.3	0.6
1(6)	チューリップの花が開く温度を明らかにするための追実験を計画するに当たって、実験結果の考察から設定する温度を答える	実験結果の考察から花が開く温度を予想して、適切に温度を設定し、追実験を計画することができる		○									○		32.9	8.3	33.9	8.3
2(1)	電圧が1.2Vのときの電流計の図から、電流の大きさを読みとり答える	電流計の読み方の技能を身に付けている	○		○								○		45.1	7.8	44.3	7.7
2(2)	1つの回路で、2つの実験と同じ結果を得るための測定方法を説明する	抵抗の直列つなぎ、並列つなぎなどに関する知識を活用して、他者の実験方法を検討し改善して、正しい実験方法を説明することができる		○	○					○					8.1	20.5	7.6	19.6
2(3)X	2つの実験結果から、電圧2.0Vのときの、豆電球と発光ダイオードの消費する電力を比較して答える	実験結果を分析し、豆電球と発光ダイオードの消費する電力を比較することができる		○	○									○	55.9	11.4	53.7	11.5
2(3)Y	2つの実験における豆電球と発光ダイオードの消費する電力から、白熱電球とLED電球の省エネの効果を考察し、LED電球の省エネの効果を答える	実験の考察とLED電球の省エネの効果を関連付けている場面で、電力に関する知識を活用して、LED電球の省エネの効果を考えることができる		○	○									○	84.1	10.3	83.9	10.4
2(4)	白熱電球とLED電球で、省エネの効果を比較する実験を考えるときに、必要な条件を選ぶ	「省エネの効果を比較する」という実験の目的のもと、「明るさ」の条件を制御した実験を計画することができる		○	○					○					73.5	1.0	72.3	1.0
2(5)	白熱電球をLED電球に交換するときに、消費する電力量を減らすために最も効果がある場所を選び、その理由を説明する	白熱電球をLED電球に交換しようとする場面で、電力量の知識を活用して、最も省エネの効果がある場所を考え、その根拠を説明することができる		○	○									○	59.5	3.3	58.6	3.5
2(6)	白熱電球とLED電球を、それぞれ1時間使用する場合に、消費する電力量の差を求め式を書き、電力量の差を求め	電力量を理解している	○		○								○		11.2	42.5	11.1	41.1

・以下の値は、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値(推計値を含む)である。

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	
				長野県(公立)	全国(公立)
長野県(公立)	4,517	44	51.0	49.7	52.2
全国(公立)	424,320	4,294	51.0	50.9	51.1

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)	
			長野県(公立)	全国(公立)
問題	主として「知識」に関する問題	10	56.1	56.1
	主として「活用」に関する問題	16	47.7	47.8
学習指導要領の領域	物理的領域	8	46.6	45.9
	化学的領域	6	57.4	56.9
	生物的領域	6	49.3	50.7
	地学的領域	6	52.0	52.0
評価の観点	自然事象についての関心・意欲・態度	0		
	科学的な思考・表現	16	47.7	47.8
	観察・実験の技能	4	64.6	63.6
	自然事象についての知識・理解	6	50.5	51.1
問題形式	選択式	12	60.4	60.3
	短答式	9	49.3	49.0
	記述式	5	31.2	32.1

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式		長野県(公立)		全国(公立)		
					物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域	自然事象についての関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
3(1)	野外観察で、「地層のつながりや広がり方」と「地層の成因」を調べるための技能において、着目する事象と観察の観点を選ぶ	「地層の連続性や成因を調べるために、断層の有無や地層に含まれている粒に着目する」という地層観察に関する技能を身に付けている	○					○				○			85.0	0.5	86.9	0.7
3(2)	地層観察の結果から、観察地における地層のつながり方を考察し、地層の傾いている方向を選ぶ	観察地における地層の広がり方について、観察地の図と観察結果から分析して解釈し、地層の傾きを認識して、その傾きの方向を指摘することができる		○				○				○			30.4	1.2	31.2	1.3
3(3)	地層観察の結果から、過去の火山活動が活発だった時期の回数についての他者の考察を検討し、適切な回数を選び、その根拠を説明する	地層などの知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数についての他者の考察を検討し、根拠を示して改善した考察を説明することができる		○				○					○		10.4	6.0	10.4	6.0
3(4)	ローム層の厚さと偏西風の影響の情報から、火山、観察地、中学校の位置関係を適切に示した模式図を選ぶ	火山灰の広がり方を考察する場面で、火山などの知識を活用し、偏西風の影響などの情報から、火山と観察地などの位置関係を推定することができる		○				○				○			48.2	2.9	48.3	2.2
3(5)	アサリの化石が含まれる地層が堆積した当時の生活環境を選ぶ	示相化石に関する知識を身に付けている	○					○				○			60.2	1.3	61.9	1.1
3(6)	「うすい塩酸をかけ、発生する気体を確かめる」という石灰岩を見分ける技能において、そのとき発生する気体の名称を答える	「石灰岩(石灰石)にうすい塩酸をかけると二酸化炭素が発生する」という石灰岩の見分け方に関する知識を身に付けている	○					○				○			77.5	9.8	73.4	10.2
4(1)	濃度10%の食塩水1000gをつくるために必要な食塩と水の質量を求める	「特定の質量パーセント濃度の水溶液をつくる」という技能を身に付けている	○					○				○			50.7	20.7	49.8	18.8
4(2)	実験で、古い卵が浮いたときの気室の位置と、卵のどがっている部分の位置を選ぶ	実験結果や卵の断面図を分析し解釈して、卵の構造を推定することができる		○				○				○			62.1	1.9	61.4	1.8
4(3)	実験結果から、食塩水の中で卵にはたらく浮力の大きさを求める式を書き、浮力の大きさを求める	浮力を理解している	○		○							○			35.3	42.7	36.2	40.2
4(4)	食塩水がいくらでも濃くできるわけではない理由を説明する	「いくらでも食塩水を濃くできるわけではない」という他者からの指摘を分析し解釈して、他者の考えの根拠を説明することができる		○				○					○		44.4	28.5	46.6	26.9
4(5)	食塩水のように、食塩の粒子のモデルで表したものを選ぶ	水溶液においては、溶質が均一に分散していることを粒子のモデルと関連付けて理解している	○					○				○			73.6	2.7	71.6	2.5
4(5)	液体のようす(上部が水、下部が食塩水)を、食塩の粒子のモデルで表したものを選ぶ	液体のようすについて予想を立てる場面で、水溶液の知識を活用して、予想を粒子のモデルで表している図を指摘することができる		○				○				○			69.4	3.1	68.4	2.7
4(6)	二人の考えのどちらが正しいかを調べる実験の方法と、その実験を行ったとき、得られる実験結果として、正しいものを選ぶ	「水槽の中の液体が、食塩水の1層なのか、上層が水、下層が食塩水の2層なのか」ということを検証する実験を計画することができる		○				○				○			44.4	3.6	43.7	3.2